

「オンリーワン徳島行動計画」目標水準・数値目標

平成17年度達成状況一覧表について

1 目標水準、数値目標について

「オンリーワン徳島行動計画」では、7つの基本目標を具体化するための45の各重点施策ごとに、「目標水準」を定めるとともに、これを構成する主要事業についても、個々に「数値目標」を設定しており、平成17年度版計画においては合計383の「目標水準」、「数値目標」を掲げているところです。

今回、「オンリーワン徳島行動計画」の2年目となる平成17年度のそれぞれの「目標水準」、「数値目標」の達成状況についてとりまとめました。

2 表の見方について

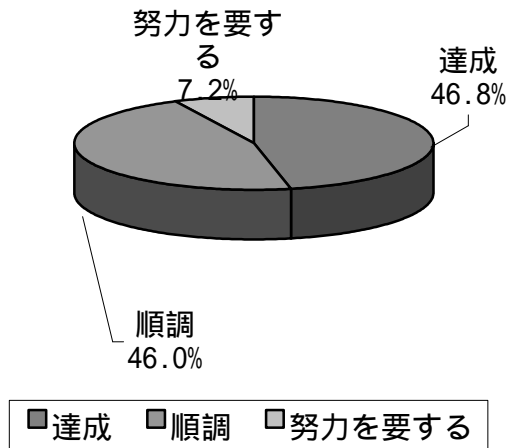
- (1) 「**現況値**」欄には、計画策定時の直近の数値等を記載しています。
- (2) 「**実績値(平成17年度)**」欄には、計画の目標値に対する進捗状況・成果を記載しており、数値等は、原則として平成18年3月31日時点のものを記載しています。
(調査時点の関係で上記時点の数値等がでない場合は、平成17年度中の直近の数値等を記載しています。)
また、「**実績値(平成16年度)**」欄には、前年度にとりまとめた達成状況の数値を記載しており、原則として平成17年3月31日時点のものとなっています。
- (3) 「**目標値**」欄には、計画において、目標年度(原則として平成18年度)までに達成しようとする目標値を記載しています。
- (4) 「**達成度**」欄には、実績値(平成17年度)の目標値に対する達成状況について、次の区分により記載しています。
但し、平成17年度の実績値がでていない場合は、平成16年度の実績値の目標値に対する達成状況について記載しています。
 - 「1」 **達成**(実績値が目標を達成している。)
 - 「2」 **順調**(実績値が目標達成に向けて順調に推移している。)
 - 「3」 **努力を要する**(実績値が目標達成の可能性が低いものとなっており、今後努力を要する。)
 - 「-」 **実績値未判明**(統計の調査年等の関係で、実績値が判明しない場合。)
- (5) 「**達成状況の説明**」欄について
実績値の目標値に対する達成状況の分析・説明を簡単に記載しています。

「オンリーワン徳島行動計画」目標水準・数値目標の平成17年度達成状況

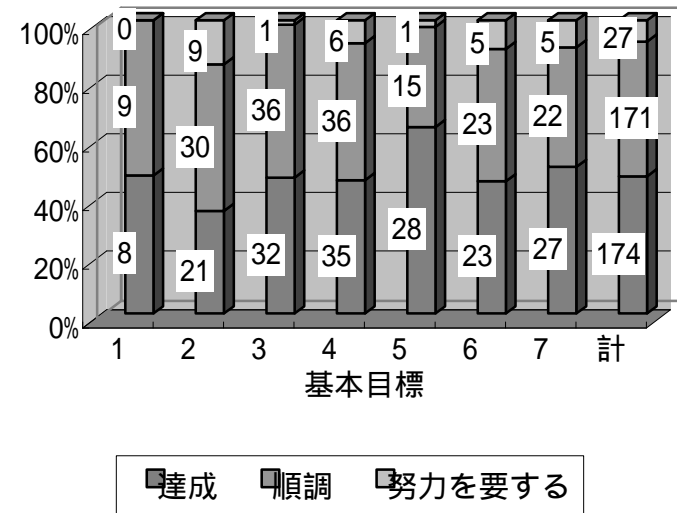
() 書き数値は平成16年度の状況

| 区 分 | 基本目標1 (オープン) | 基本目標2 (経済再生) | 基本目標3 (環境首都) | 基本目標4 (安全・安心) | 基本目標5 (いやしの国) | 基本目標6 (ユニバーサル) | 基本目標7 (にぎわい) | 計 | 全体比率 (%) |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------|-------------|---------------|
| 1 達成 | 8 (7) | 21 (12) | 32 (23) | 35 (19) | 28 (16) | 23 (10) | 27 (14) | 174 (101) | 46.8 (31.6) |
| 2 順調 | 9 (8) | 30 (31) | 36 (33) | 36 (36) | 15 (23) | 23 (33) | 22 (29) | 171 (193) | 46.0 (60.3) |
| 3 努力を要する | 0 (1) | 9 (8) | 1 (2) | 6 (4) | 1 (2) | 5 (5) | 5 (4) | 27 (26) | 7.2 (8.1) |
| 小 計 | 17 (16) | 60 (51) | 69 (58) | 77 (59) | 44 (41) | 51 (48) | 54 (47) | 372 (320) | 100 (100) |
| 実績値なし | 0 (0) | 4 (7) | 2 (10) | 1 (6) | 1 (1) | 1 (1) | 2 (5) | 11 (30) | - (-) |
| 合 計 | 17 (16) | 64 (58) | 71 (68) | 78 (65) | 45 (42) | 52 (49) | 56 (52) | 383 (350) | - (-) |

達成状況 (全体)



達成状況 (基本目標別)



「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|---------------------------|-----------------------------|----|--------|----|-----------------|-----------------|--------|----|-----|---|----|
| | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | | | | | |
| 基本目標1「オープンとくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1 オープンとくしまの展開 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 「しゃべり場とくしま」、「とくしま円卓会議」の開催回数 | 回 | 7 | 15 | 7 | 9 | 12 | 18 | 2 | しゃべり場6回、円卓会議3回を開催した。次年度以降、開催回数を増やしていく。 | 企画 |
| 2 | 「知事への提言」へのメール件数 | 件 | 478 | 14 | 544 | 494 | 600 | 18 | 2 | インターネットで寄せられた提言等は現況値を上回っている。 | 企画 |
| 3 | パブリックコメント実施件数 | 件 | 6 | 14 | 18 | 22 | 12 | 18 | 1 | 県のすべての行政機関においてオープンとくしまパブリックコメント制度を導入し、順調に推移している。 | 県民 |
| 4 | 県民広聴事業における県民相談件数 | 件 | 3,378 | 14 | 5,258 | 5,507 | 3,700 | 18 | 1 | 県庁、南部総合県民局、合同庁舎に県政広聴員を配置し県民相談体制が整ったため、順調に推移している。 | 県民 |
| 5 | オープンとくしまeモニターアンケート制度 | | 検討 | 15 | 実施 | 推進 | 実施 | 16 | 1 | インターネットを活用した県政アンケート調査を平成16年度から実施している。 | 県民 |
| 6 | 情報公開度ランキング(全国) | 位 | 28 | 14 | 5 | 9 | 10位以内 | 16 | 1 | 徹底した情報公開に努めた結果、平成16年度5位となり目標を達成したが、引き続き平成18年3月公表のランキングで9位となり、目標を達成している。 | 企画 |
| 2 クリーンとくしまの実現 | | | | | | | | | | | |
| 7 | 電子入札システムの導入 | | 未整備 | 15 | 一部導入 | 一部導入 | 全面導入 | 18 | 2 | 建設工事に伴う5千万円以上の工事案件及び1千万円以上の委託案件について概ね電子入札を導入した。 | 県土 |
| 3 とくしまパートナーシップの推進 | | | | | | | | | | | |
| 8 | 「徳島県社会貢献活動の促進に関する条例」の施行・推進 | | 検討 | 15 | 施行・推進 | 推進 | 施行・推進 | 16 | 1 | 平成16年4月から条例を施行するとともに、平成17年3月には条例を具体化するための基本方針を策定するなど、社会貢献活動の促進に努めている。 | 県民 |
| 9 | NPO法人数 | 団体 | 42 | 14 | 102 | 138 | 80 | 18 | 1 | NPO法人制度の周知等により、法人認証数は順調に増加している。 | 県民 |
| 10 | とくしま県民活動プラザ利用者数 | 人 | 17,915 | 14 | 30,015 | 29,292 | 30,000 | 18 | 2 | NPO・ボランティアなど社会貢献活動の総合的な支援拠点として、県民の間に浸透しつつある。 | 県民 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|---------------------------|---------------------------|----|---------|----|-----------------|-----------------|---------|---------------|-----|---|----|
| | | | | | | | | | | | |
| 11 | ボランティア人口 | 人 | 100,115 | 14 | 101,014 | 135,238 | 210,000 | 18 | 2 | 社会貢献活動への参加形態の多様性から、NPO法人への参加をはじめ、他の形態での活動人口が増加していることもあり、ボランティア人口としての伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。 | 県民 |
| 12 | 協働事業推進補助金*補助事業数 | 事業 | 未実施 | 15 | 14 | 15 | 20 | 18 | 2 | 社会貢献活動団体が取り組む社会貢献活動の立ち上げに効果を上げており、今後も引き続き効果が期待できる。 | 県民 |
| 13 | 協働推進モデル創出事業 | 事業 | 制度なし | 16 | | 創設・実施 | 創設 | 17 | 1 | 平成17年度から事業が実施されており、官民協働の推進に一定の効果を上げている。 | 県民 |
| 14 | アドプト参加団体数 | 団体 | 387 | 14 | 446 | 475 | 475 | 18 | 1 | アドプトプログラムの周知等により、参加団体数は順調に増加している。 | 県民 |
| 15 | 地域とつくる土木モデル事業実施事業数(累計) | 箇所 | 70 | 15 | 80 | 88 | 100 | 18 | 2 | 月見ヶ丘海浜公園において住民参加による計画策定を進めるなど、順調に進捗している。 | 県土 |
| 16 | 地域とつくる農業農村整備事業実施事業数(累計) | 地区 | 3 | 15 | 7 | 11 | 13 | 18 | 2 | 県下全ての地域について農村振興基本計画の策定を完了し、当該計画に基づく農業農村整備事業4地区(累計11地区)に新たに着手した。 | 農林 |
| 4 リフレッシュとくしまプランの展開 | | | | | | | | | | | |
| 17 | リフレッシュとくしまプランの100の具体的推進項目 | | 設定 | 15 | 計画的推進 | 計画的推進 | 計画的推進 | 18 | 2 | 年次毎の改革工程表に基づいて、計画的に推進している | 企画 |
| 基本目標2「経済再生とくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1 経済再生のための体制づくり | | | | | | | | | | | |
| 18 | 平成16～18年度雇用創出人数 | 人 | - | | - | - | 10,000 | 16 ~ 18 | - | 各種施策の実施状況、各種労働統計等を踏まえ、達成度の検証を行うこととしている。 | 商工 |
| 19 | 商工会広域連携協議会の設立数(累計) | 件 | 3 | 15 | 7 | 7 | 7 | 18 | 1 | 市町村合併の動向や商工会の経営基盤の強化、経営改善普及事業の充実などを図るため、全商工会地区で7つの商工会広域連携協議会が設立された。 | 商工 |
| 20 | 農業協同組合数 | 組合 | 18 | 15 | 18 | 18 | 1 | 18 | 3 | 県下1JA構想の実現に向け、平成17年8月の県下農協組合長会議において協議を行うなど検討を重ねてきたが、さらに指導の強化を行っていく。なお、JA鳴門市、JA堀江、JA板東町の3JAが合併に至り、平成18年7月に16JAになる。 | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|------------------------|---------------------------|-----------------|-------|----------|----------|-------|-------|----|---------|--|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 21 | 森林組合数 | 組合 | 16 | 15 | 16 | 16 | 6 | 18 | 3 | 合併構想の実現に向けて、徳島県森林組合広域合併協議会等で検討を行い、合併への指導を強化する。なお、平成18年4月に三好西部森林組合が新設され、13森林組合となる。 | 農林 |
| 22 | 水産業協同組合信用事業責任体制数* | 体制 | 28 | 15 | 10 | 1 | 1 | 18 | 1 | 1県1信用事業責任体制が構築された。信用事業が健全に運営されるよう、引き続き指導を継続する。 | 農林 |
| 23 | 徳島県経営品質賞応募等企業数 | 件 | 未実施 | 15 | 5 | 3 | 15 | 18 | 2 | 賞応募等に、企業は意欲的に取り組んでいる。 | 商工 |
| 24 | 改善エキスパート認定人数(累計) | 人 | 未実施 | 15 | 13 | 25 | 50 | 18 | 2 | 「改善エキスパート」認定制度について、募集・認定を行った。事業の周知等に努める。 | 商工 |
| 25 | 認定農業者数 | 経営体 | 1,004 | 15 | 1,274 | 1,422 | 2,000 | 18 | 2 | 認定農業者育成に関わる市町村等の担当者に対し、制度の周知に努めるとともに、機会を捉え農業への働きかけを行っている。 | 農林 |
| 26 | 40歳未満の新規就農者数(平成15年度からの累計) | 人 | 50 | 15 | 103 | 134 | 230 | 18 | 3 | 平成15年度は50人、16年度は53人と推移したが、17年度は31人と減少した。これは景気回復による雇用情勢の変化などによるものと推察するが、目標達成に向け、就農希望者に対する各種制度のPRに努めるとともに、農業支援センター等による支援活動を行うことにより、新たな就農者の育成・確保に努める。 | 農林 |
| 27 | 農林水産業分野の新技术実用化課題数 | 件 | 56 | 14 | 75 | 87 | 84 | 18 | 1 | 地域の生産者へ新技术が波及しつつあり、引き続き、地域農産物のブランド化、オンリーワン産地の育成等の課題解決を推進する。 | 農林 |
| 28 | 高能率間伐材搬出技術者数(累計) | 名 | 12 | 16 | | 54 | 60 | 18 | 2 | 森林組合等林業事業体への高性能林業機械購入に合わせて、計画どおり技術者の養成が進んでいる。 | 農林 |
| 29 | 県との連携組織を有する高等教育機関の割合 | % | 43 | 15 | 43 | 57 | 80 | 18 | 2 | 平成17年度は1件の組織設置にとどまったが、目標達成に向け引き続き大学等への働きかけに努める。 | 企画 |
| 2 とくしま産業再生事業の推進 | | | | | | | | | | | |
| 30 | 徳島県特定中小企業集積活性化計画(機械金属工業) | | 策定中 | 15 | 実施 | 実施 | 実施 | 16 | 1 | 目標どおり達成された。 (販路開拓事業等への支援を実施した。) | 商工 |
| 31 | 徳島県特定中小企業集積活性化計画(木工業・第2次) | | 未策定 | 15 | 策定 | 実施 | 策定 | 16 | 1 | 目標どおり達成された。 (販路開拓事業等への支援を実施した。) | 商工 |
| 32 | 県内木材需要に占める県産木材の比率 | % | 22 | 14 | 22 | | 25 | 18 | 2 | 平成17年度実績は、平成19年5月頃に判明。県産木材の需要拡大や木材産業への支援を通じて県産木材の利用を推進している。 | 農林 |
| 33 | 間伐材等の県産木材の供給量 | 万m ³ | 16 | 15 | 17 | | 20 | 18 | 2 | 17年度実績は、18年8月頃に判明。今後、林業再生プロジェクトの推進により増産される見込みである。 | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|-------------------------|--------------------------------|----------------|-------|----------|----------|-------|-------|----|---------|--|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 34 | 県内新築住宅着工数に占める木造住宅の割合 | % | 51.9 | 14 | 56.6 | 50.8 | 57.0 | 18 | 3 | 住宅にスギを使おうとする機運が高まってきているが、分譲マンションの着工戸数が対前年比6割増となったため、木造住宅の割合が減少した。引き続き県産材を使用した木造住宅の普及を実施する。 | 農林 |
| 35 | 公共土木工事での年間県産木材使用量 | m ³ | 6,169 | 14 | 4,281 | 5,278 | 8,000 | 18 | 3 | 平成17年度は、公共事業予算が減少する中、すぎ型桧合板や間伐作業道に木柵を使うなどの工夫で、対前年1千m ³ の使用量が増加した。今後、なお一層の働きかけを進めていく。 | 農林 |
| 36 | オンリーワン企業創出のための総合的支援を受けた企業数(累計) | 社 | 未実施 | 15 | 4 | 7 | 3 | 18 | 1 | 目標値を達成している。 | 商工 |
| 37 | 経営革新計画承認件数(累計) | 件 | 71 | 15 | 104 | 151 | 180 | 18 | 2 | 目標達成に向け順調に推移している。 | 商工 |
| 38 | 国等の公募提案型事業の採択件数(累計) | 件 | 1 | 15 | 1 | 5 | 3 | 18 | 1 | 目標どおり達成された。引き続き平成18年度は5件のテーマを申請している。 | 商工 |
| 39 | 建設業新分野進出支援資金新規融資件数(累計) | 件 | 未実施 | 15 | 0 | 1 | 30 | 18 | 3 | 経営体力の弱い建設業者が多く、事業の多角化に乗り出すことが難しいため、利用が低迷している。今後建設業者を対象とした「新分野進出支援セミナー」等において制度の周知を図る。 | 商工 |
| 40 | 建設業構造改革支援事業の研修会等日数 | 日 | 0 | 16 | | 11 | 11 | 18 | 1 | 平成18年度も目標とする研修会等日数を実施予定である。 | 県土 |
| 41 | 中小企業協調融資制度新規融資件数 | 件 | 6,921 | 14 | 5,843 | 4,024 | 7,000 | 18 | 2 | 県内の景気は、持ち直しの動きを続けていることから、経営安定関連資金の新規貸付が一服している。これから景気回復が本格化すれば設備投資などの前向きな資金の増加が見込まれるため、順調である。 | 商工 |
| 3 とくしま起業倍増プランの展開 | | | | | | | | | | | |
| 42 | 開業事業所数(事業所・企業統計調査) | 事業所 | 1,100 | 13 | - | - | 3,300 | 18 | - | 調査が5年に1回のため。 | 商工 |
| 43 | 中小企業新事業活動促進法活用企業数(累計) | 社 | 0 | 14 | 54 | 92 | 100 | 18 | 2 | 制度の周知が図られており順調に推移している。 | 商工 |
| 44 | コミュニティビジネスの計画策定支援数(累計) | 事業 | 0 | 15 | 2 | 2 | 5 | 18 | 2 | コミュニティビジネスに関する支援を行ってきたが、計画策定まで至っていない。18年度はコミュニティビジネスに関するセミナーを開催することにより、計画策定支援の機会が増えるため、今後順調に支援数の増加が見込める。 | 商工 |
| 45 | 新事業創出支援事業活用数(累計) | 件 | 1,400 | 14 | 2,646 | 3,005 | 3,000 | 18 | 1 | 目標値を達成している。 | 商工 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|------------------------|------------------------------|-----|-----|----|-----------------|-----------------|-----|----|-----|---|----|
| | | | | 15 | 16 | 17 | | | | | |
| 46 | 投資事業有限責任組合*による投資企業数(累計) | 社 | 未実施 | 15 | 2 | 3 | 10 | 18 | 2 | 投資先となる企業について複数候補があり、今後順調に投資企業の増加が見込める。 | 商工 |
| 47 | 無担保無保証人の創業者支援資金による新規融資件数(累計) | 件 | 未実施 | 15 | 48 | 87 | 180 | 18 | 2 | 県内の景気は、持ち直しの動きを続けているものの貸付はやや低い水準で推移している。これから景気回復が本格化すれば創業者の増加が見込まれるため、順調である。 | 商工 |
| 48 | 「徳島のSOHO*事業者サイト」登録事業者数(累計) | 社 | 15 | 15 | 23 | 33 | 45 | 18 | 2 | セミナーの開催等によりSOHO事業者の交流やビジネスチャンス拡大等を図った。今後も事業者の発掘、支援に努める。 | 商工 |
| 49 | 創業準備オフィスを活用した開業事業所数(累計) | 事業所 | 未実施 | 15 | 5 | 16 | 100 | 18 | 3 | これまで利用者の利便性に配慮した夜間での施設利用や経営ノウハウ等幅広い相談に応じてきた結果、18年3月末で創業準備者として209名が登録している。創業はビジネスプランの作成など計画段階から創業に至るまで課題解決に十分な時間を要するため、今後、創業に結びつくようきめ細かなサービスの提供等により創業者の増加を図るほか、引き続き、施設の積極的なPRに努める。 | 商工 |
| 50 | お試し発注制度による発注事業所数(累計) | 事業所 | 未創設 | 15 | 9 | 18 | 18 | 18 | 1 | 目標値を達成している。 | 商工 |
| 51 | 農業法人*数(専門農協、農事組合法人は除く) | 経営体 | 103 | 14 | 118 | | 120 | 18 | 2 | ほぼ目標を達成しつつあるが、引き続き、農業経営や集落営農組織の法人化相談活動を継続する。(平成17年度実績については、平成18年度中に調査) | 農林 |
| 52 | 産学共同研究参画企業数(累計) | 社 | 4 | 15 | 10 | 12 | 20 | 18 | 2 | 新規共同研究テーマの公募継続研究の進捗等に併い新たな企業の参画を推進している。新たな共同研究について、テーマを公募中であり、採択に伴い企業の参画が見込まれる。また、共同研究の進捗に伴い、創出された成果等の発表会、展示会等を通じ、新たな企業の参画促進に努める。 | 商工 |
| 53 | ものづくりテーマの設置数(累計) | 件 | 未実施 | 16 | | 5 | 6 | 18 | 2 | 5件の案件に対して研究委託を行い次世代ものづくり事業を実施してきた内1件は順調に研究が進み今後の研究成果が期待できる。 | 商工 |
| 4 とくしま産消連携事業の推進 | | | | | | | | | | | |
| 54 | オンリーワン農水産品品目育成数 | 品目 | 0 | 15 | 0 | 2 | 4 | 18 | 2 | 引き続きワカメの新商品、無核すだちファミリーの育成へ向けて、研究開発中。 | 農林 |
| 55 | オンリーワン産地育成数 | 産地 | 4 | 15 | 4 | 4 | 11 | 18 | 2 | 山ふき「みさと」、「あんみつすいか」等、生産組織も整備され、産地形成がなされつつある。 | 農林 |
| 56 | 地域食材供給協力店*数 | 店舗 | 25 | 15 | 43 | 120 | 100 | 18 | 1 | 農林水産物直売所に加え、量販店、小売店、飲食店等における取り組みが増えている | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|--------------------------|-------------------|-----|-------|-----|----------|----------|----------|----|---------|---|----|
| | | | | 年度 | (平成16年度) | | (平成17年度) | 年度 | | | |
| 57 | 食農教育*実施市町村数 | 市町村 | 6 | 15 | 8 | 9 | 25 | 18 | 2 | モデル校以外でも取り組みが進んでいる。なお実績値は9市町村であるが、計画策定時(50市町村)に比較すると11市町村に相当する。 | 農林 |
| 58 | 地場産物を活用した給食実施モデル校 | 校 | 未実施 | 15 | 3地域(14校) | 3地域(22校) | 3 | 16 | 1 | モデル指定した3地域(22校)では、地場産物を活用した学校給食の提供が行われた。 | 教育 |
| 5 新鮮とくしまブランド戦略の展開 | | | | | | | | | | | |
| 59 | 農林水産物ブランド品目育成数 | 品目 | 4 | 15 | 4 | 4 | 30 | 18 | 2 | 「新鮮なっ!とくしま」号を活用したPR等により、徳島産農林水産物の知名度が向上し、「とくしまブランド」が形成されつつある。 | 農林 |
| 60 | 園芸品目*の産出額 | 億円 | 700 | 14 | 609 | | 750 | 18 | 2 | 平成16年度実績値は、台風等気象災害により生産量、産出額ともに減少しているが、平成17年度については気象災害も殆どなく、順調に推移していると考えられる(H17年度実績はH18.9月頃判明)。 | 農林 |
| 61 | 阿波尾鶏出荷羽数 | 万羽 | 178 | 14 | 203 | 199 | 200 | 18 | 2 | 平成17年度出荷羽数199万羽となり順調に推移している。 | 農林 |
| 62 | 生しいたけ生産量 | トン | 4,754 | 14 | 5,526 | 5,600 | 5,000 | 18 | 1 | 施設整備や技術向上等により、目標を達成し、生産量は年々増加している。 | 農林 |
| 63 | わかめ生産量 | トン | 7,640 | 14 | 6,792 | | 10,700 | 18 | 3 | ワカメ生産量の伸び悩みは、単価安による生産意欲の低下及びそれに関連した経営体数の減によるものであると考えられる。このことから今後ワカメのブランド化を推進することで、単価アップを図っていく。(なおH16年度については自然環境の要因により生産量が特に減少した。H17年度実績はH19.1月頃判明)。 | 農林 |
| 64 | とくしま安2農産物*認証件数 | 件 | 未整備 | 15 | 6 | 13 | 40 | 18 | 2 | 平成16年度に創設した制度であり、認定件数は増加している。制度周知のため、さらなるPRを実施する。 | 農林 |
| 65 | 新しいブランド農林水産物開発数 | 件 | 0 | 15 | 6 | 7 | 6 | 18 | 1 | イチゴやヒジキなど新たなブランド品目が開発され目標を達成したが、引き続き研究開発中。 | 農林 |
| 66 | 新技術導入件数(人工手入れ砂*) | 戸 | 20 | 14 | 28 | 44 | 70 | 18 | 2 | 農業研究所と連携しながら、展示ほを設置しており、本年度も引き続き推進していく予定である。 | 農林 |
| 6 「とくしま雇用戦略」の展開 | | | | | | | | | | | |
| 67 | 徳島県有効求人倍率(年平均) | 倍 | 0.53 | 14 | 0.74 | 0.8 | 1.00 | 18 | 2 | 雇用環境は依然として厳しいものの、経済情勢の回復基調を反映して、有効求人倍率は改善傾向となっている。 | 商工 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|----|----------------------------------|----|-------|----|-----------------|-----------------|-------|---------------|-----|---|----|
| | | | | | | | | | | | |
| 68 | 情報通信関連産業*の立地奨励指定企業(累計) | 社 | 1 | 15 | 2 | 3 | 3 | 18 | 1 | 現在3社奨励指定済、今後も働きかけを行う | 商工 |
| 69 | 企業立地優遇制度適用指定企業(累計) | 社 | 4 | 14 | 16 | 21 | 20 | 18 | 1 | 現在21社指定済、今後も増加の見込み | 商工 |
| 70 | 新たにLED関連製品の製造を開始した企業数(累計) | 社 | 0 | 16 | | 7 | 10 | 18 | 2 | LED関連製品開発可能性調査事業において採択し、技術支援を行った企業数 | 商工 |
| 71 | 介護保険サービス従事者*増加数 | 人 | 0 | 15 | 1,268 | 2,275 | 1,000 | 16 ~ 18 | 1 | 要介護認定者数の増加に伴い、介護サービスの提供量が増加してきている。 | 保健 |
| 72 | 福祉サービス従事者増加数 | 人 | 0 | 15 | 25 | 43 | 115 | 16 ~ 18 | 2 | 福祉サービス従事者数については順調に伸びている。 | 保健 |
| 73 | 雇用拡大企業支援資金新規融資件数(累計) | 件 | 未実施 | 14 | 0 | 0 | 30 | 18 | 3 | 県内の景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新規雇用を伴う設備投資が難しい状況にある中小企業が多いため、利用が低迷している。 | 商工 |
| 74 | 山間地域における雇用創出活動取り組み件数 | 件 | 0 | 15 | 8 | 15 | 40 | 18 | 2 | 高性能林業機械等の導入により、取り組み件数が増加している。 | 農林 |
| 75 | 緊急地域雇用創出特別基金*事業により新規雇用された失業者(累計) | 人 | 1,673 | 14 | 4,653 | | 4,200 | 16 | 1 | 目標を達成した。 | 商工 |
| 76 | 県内企業のワークシェアリング導入事業所割合 | % | 11.2 | 13 | - | | 20.0 | 18 | | 平成18年度に調査を行うため。 | 商工 |
| 77 | 若年者(15~24歳)の失業率 | % | 15.5 | 14 | - | - | 10.0 | 18 | - | 調査が5年に一回のため | 商工 |
| 78 | 徳島県就労支援プラザを活用した就職件数 | 人 | 35 | 15 | 28 | 45 | 50 | 18 | 2 | 専門家によるキャリアカウンセリングを実施するなどきめ細やかな職業相談を実施し、就職者数の確保に努めている。 | 商工 |
| 79 | 雇用をした農業法人数 | 件 | 55 | 14 | 70 | | 70 | 18 | 1 | 「新規就農者育成支援事業」の実施等により、目標を達成した。引き続き事業を継続し、雇用の促進を図る。(平成17年度実績については、平成18年度中に調査) | 農林 |
| 80 | 緑の研修生*の定着数 | 人 | 0 | 14 | 40 | 86 | 60 | 18 | 1 | 引き続き、定着数が確保されるよう関係する林業事業体に働きかけを継続する。 | 農林 |
| 81 | 県立テクノスクール施設内訓練生の就職率 | % | 71.9 | 14 | 79.6 | 75.5 | 75.0 | 18 | 1 | 目標値に達した数値で推移している。 | 商工 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | | 実績値 | | 目標値 | | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|---------------------------|--|--------|-----------|----|----------|----------|-----------|----|-----|--|----|
| | | | 年度 | 年度 | (平成16年度) | (平成17年度) | 年度 | 年度 | | | |
| 基本目標3「環境首都とくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1 環境首都とくしまの基盤づくり | | | | | | | | | | | |
| 82 | 「環境首都とくしま憲章*」の県民への浸透度 | % | 制定 | 15 | - | 63.7 | 80 | 18 | 2 | 「環境首都とくしま憲章タウンミーティング」開催のほか、各種イベント時における普及啓発により、周知、取組が広がっている。(e-モニターアンケート(H17.7月実施)において実践度が把握しやすい主な11項目の取組状況等についてアンケートを実施) | 県民 |
| 83 | とくしま環境科学機構の創設 | | 検討 | 15 | 検討 | 創設 | 創設 | 17 | 1 | 平成18年3月23日に設立した。 | 県民 |
| 84 | 環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進するための基本方針の策定 | | 未策定 | 15 | 検討 | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 平成17年12月に「とくしま環境学びプラン」を策定した。 | 県民 |
| 85 | 環境アドバイザー*派遣件数 | 件 | 29 | 14 | 13 | 24 | 35 | 18 | 2 | 年度により変動があるが、平成17年度は学校等への周知等により派遣数の増加を目指した。 | 県民 |
| 86 | ボランティアリーダー*養成数(累計) | 人 | 311 | 14 | 398 | | 380 | 16 | 1 | 平成16年度に40名が修了し、目標を達成した。 | 県民 |
| 87 | 「学校版環境ISO」認証取得校数 | 校 | 制度なし | 15 | 10 | 39 | 30 | 18 | 1 | 平成16年度10校、平成17年度29校を認証。 | 教育 |
| 88 | 環境管理システム(ISO14001)における環境目標の達成率 | % | 93 | 14 | 93 | - | 98 | 18 | 2 | 環境管理システム(ISO14001)により、環境基本計画を効果的に推進するとともに、環境の視点を取り入れた各種施策の継続的改善を実施した。(平成17年度実績は8~9月に判明予定。) | 県民 |
| 2 とくしま地球環境ビジョンの展開 | | | | | | | | | | | |
| 89 | 温室効果ガス排出量* | トン-CO2 | 6,580,000 | 2 | - | - | 5,922,000 | 22 | - | 各種の経済統計データ等が公表された上での積算になることから2003年のデータが直近であるため。 | 県民 |
| 90 | 地球にやさしい環境活動実施団体数(徳島県地球環境保全行動計画・個別行動計画の参加民間団体数) | 団体 | 47 | 14 | 46 | 46 | 70 | 18 | 2 | とくしま環境県民会議が中心となって、地球にやさしい環境活動を展開しており、今後とも活動を推進する。 | 県民 |
| 91 | 木質バイオマス*利用実施例 | 件 | 2 | 15 | 4 | 9 | 4 | 18 | 1 | 四国電力への木皮の供給が始まるほか、木材産業界等での利用が進んでいる。 | 農林 |
| 92 | 新エネルギーに係る国等の公募提案型事業の新規採択件数 | 件 | 研究会未開催 | 15 | 1 | | 1 | 18 | 1 | 平成16年度に新規採択件数が1件あり目標を達成した。 | 県民 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|-----------------------|--|-----|-----|----------|----------|-------|-------|----|---------|--|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 93 | 車両用信号灯器のうちLED式信号灯器の割合 | % | 10 | 15 | 14 | 17 | 18 | 18 | 2 | 毎年約200灯を計画的に整備している。 | 警察 |
| 94 | ハイブリッドカーへの転換など環境に配慮した事業所数(平成17年度からの累計) | 事業所 | 0 | 16 | | 5 | 10 | 18 | 2 | 研修や支援制度の普及により3Rモデル事業所による3Rの実践や新エネルギー等の導入などの取組を促進した。 | 県民 |
| 95 | エコオフィスとくしま・県率先行動計画(第3次)の策定 | | 検討 | 15 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 平成16年度に第3次計画を策定し、目標を達成した。17年度からは計画に基づき取り組みを実施している。 | 県民 |
| 96 | 地球温暖化防止活動推進員*による県民への普及の活動回数 | 回 | 238 | 14 | 242 | | 280 | 18 | 2 | 学校・地域等の活動に派遣し、地球温暖化防止に係る普及に努めた。(平成17年度実績は、8~9月頃判明する予定。) | 県民 |
| 3とくしまいい生活環境づくり | | | | | | | | | | | |
| 97 | 「徳島県生活環境保全条例(仮称)」の制定 | | 検討 | 15 | 制定 | 施行 | 制定 | 16 | 1 | 平成16年度に生活環境保全条例を制定し、17年度は、条例の周知及び適正な運用を行った。 | 県民 |
| 98 | 工場・事業場等の規制の適合状況 | % | 100 | 14 | 100 | 100 | 100 | 18 | 1 | 15施設のうち1施設において、ダイオキシン類の排出基準値超過がみられたが、改善指導を行い、全ての施設で排出基準に適合した。 | 県民 |
| 99 | 大気環境基準*の達成状況(二酸化窒素) | % | 100 | 14 | 100 | 100 | 100 | 18 | 1 | 大気環境測定局21局すべてにおいて、二酸化窒素の環境基準を達成した。 | 県民 |
| 100 | 自動車騒音評価*地点数 | 地点 | 17 | 15 | 19 | 24 | 30 | 18 | 2 | 5地点の評価を行い、前年度までの評価数と併せ24地点の評価を終了した。 | 県民 |
| 101 | 河川における環境ホルモン調査箇所数 | 箇所 | 0 | 15 | 19 | 19 | 19 | 18 | 1 | 県内16河川の19箇所で開催している。 | 県民 |
| 102 | 化学物質自主管理事業所数 | 事業所 | 287 | 15 | 346 | 333 | 400 | 18 | 2 | 化学物質自主管理促進の結果、取扱量自体が減少し、PRT R法届出対象外となった事業所が存在するため、自主管理事業者数(PRT R法届出対象事業者数)の減少が見られる。なお、徳島県全体としての化学物質排出量は年々減少しており、事業者における自主管理が進んでいる。 | 県民 |
| 103 | 化学物質排出・移動自主削減事業所数* | 事業所 | 未実施 | 16 | | 11 | 16 | 18 | 2 | 有害化学物質の排出削減が順調に実施されている。 | 県民 |
| 104 | エコファーマー認定数(累計) | 人 | 507 | 14 | 1,019 | 1,112 | 1,000 | 18 | 1 | 当初目標は達成しているが、認定期間満了者の再認定を進めるとともに、新たに対象技術が拡大した水稲での認定を推進する。 | 農林 |
| 105 | 徳島県屋外広告物条例の見直し | | 未実施 | 15 | 一部改正 | 実施 | 検討 | 16 | 1 | 平成17年10月に条例を改正した。 | 県土 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|--------------------|------------------------------|----|---------|----------|----------|--------|---------|----|---------|---|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 106 | 公共施設緑化実施箇所（累計） | 箇所 | 109 | 15 | 112 | 128 | 130 | 18 | 2 | 順調に進捗しており、引き続き公共施設緑化の推進に努める。 | 県土 |
| 107 | 電線を地中化した県管理道路の延長（累計） | km | 5.5 | 15 | 6.5 | 7.0 | 7.0 | 18 | 1 | 平成17年度末に目標を達成し、引き続き宮倉徳島線等において推進に努める。 | 県土 |
| 4きれいな水環境の実現 | | | | | | | | | | | |
| 108 | 汚水処理人口普及率* | % | 31.9 | 14 | 36.6 | | 41 | 18 | 2 | 平成17年度実績は平成18年8月頃に判明する予定であり、目標達成に向けて順調に推移している。 | 県土 |
| 109 | 水環境基準*の達成状況（河川：生物化学的酸素要求量*） | % | 92 | 14 | 96 | 96 | 100 | 18 | 2 | 環境基準点26地点のうち25地点で環境基準を達成した。 | 県民 |
| 110 | 水環境基準の達成状況（海域：化学的酸素要求量） | % | 91 | 14 | 100 | 100 | 100 | 18 | 1 | 環境基準11地点すべてにおいて環境基準を達成した。 | 県民 |
| 111 | 公共下水道による処理人口 | 人 | 88,000 | 14 | 93,347 | | 93,000 | 18 | 1 | 平成17年度実績は平成18年8月頃に判明する予定であるが、平成16年度において既に目標を達成している。 | 県土 |
| 112 | 旧吉野川流域下水道の幹線管渠完成延長（全体延長24km） | km | 2.7 | 15 | 9.3 | 13.5 | 19.2 | 18 | 2 | 順調に整備が進んでいる。 | 県土 |
| 113 | 公共下水道の県代行事業実施数（延べ数） | 町 | 4 | 15 | 5 | 3 | 5 | 18 | 1 | 達成済み。実績値は合併前の市町村数である目標値5に相当。 | 県土 |
| 114 | 公共下水道を供用している市町村数 | 市町 | 5 | 15 | 6 | 6 | 7 | 18 | 1 | 達成済み。実績値は合併前の市町村数である目標値7に相当。 | 県土 |
| 115 | 農山漁村の生活排水処理施設による処理人口 | 人 | 18,000 | 14 | 20,437 | 20,437 | 23,000 | 18 | 2 | 新たな供用開始地区はないが、末端管路や処理場の整備が順調に進んでいる。 | 農林 |
| 116 | 合併処理浄化槽による処理人口 | 人 | 153,000 | 14 | 180,144 | - | 217,000 | 18 | 2 | 平成17年度実績は、平成18年8月頃に判明する予定であり、目標達成に向け順調に推移している。 | 県民 |
| 117 | 浄化槽法定検査受検率 | % | 29.5 | 14 | 32.5 | 33.4 | 36.5 | 18 | 2 | 浄化槽維持管理向上推進事業等の実施により、順調に推移している。 | 県民 |
| 118 | 生活排水等汚濁負荷量実態調査*実施河川数（累計） | 河川 | 1 | 15 | 2 | 3 | 4 | 18 | 2 | 鳴門市新池川において調査を実施した。 | 県民 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|-------------------------|--|----------------|--------|----|-----------------|-----------------|--------|----|-----|---|----|
| | | | | 15 | 16 | 17 | | | | | |
| 119 | 「命育むふるさとの川」創生リーダー（生活排水対策等の普及啓発指導者）の養成 | 人 | 未実施 | 15 | 17 | 42 | 50 | 18 | 2 | 創生リ-ダ-を17年度に25名を養成した。 | 県民 |
| 120 | 水環境マップ（身近な河川の環境の状況を図示する）の作成 | | 未実施 | 15 | 作成 | 作成 | 作成 | 16 | 1 | 水環境マップを作成・更新し、県ホ-ムペ-ジに掲載した | 県民 |
| 121 | 河川の浚渫土量（累計） | m ³ | 50,000 | 14 | 60,000 | 73,000 | 80,000 | 18 | 2 | 正法寺川等において浚渫を実施するなど、目標達成に向けて順調に進捗している。 | 県土 |
| 122 | 水質汚濁原因物質発生量・瀬戸内海区域の総量 化学的酸素要求量 | トン/日 | 41 | 11 | 39 | - | 41 | 16 | 1 | 16年度を目標とする第5次総量削減計画において目標値を達成した。引き続き、平成21年度を目標とする第6次総量削減計画を策定する予定である。 | 県民 |
| 123 | 水質汚濁原因物質発生量・瀬戸内海区域の総量 窒素含有量 | トン/日 | 29 | 11 | 24 | - | 27 | 16 | 1 | 16年度を目標とする第5次総量削減計画において目標値を達成した。引き続き、平成21年度を目標とする第6次総量削減計画を策定する予定である。 | 県民 |
| 124 | 水質汚濁原因物質発生量・瀬戸内海区域の総量 りん含有量 | トン/日 | 2.2 | 11 | 1.8 | - | 2.0 | 16 | 1 | 16年度を目標とする第5次総量削減計画において目標値を達成した。引き続き、平成21年度を目標とする第6次総量削減計画を策定する予定である。 | 県民 |
| 5 とくしま廃棄物ゼロ社会づくり | | | | | | | | | | | |
| 125 | 環境関連産業の立地を促進する補助制度 | | 制度なし | 15 | 制度創設 | 実施 | 制度創設 | 16 | 1 | 平成16年度に環境関連産業の立地を促進する補助制度を制定し、平成17年度に補助金を交付。 | 県民 |
| 126 | とくしまグリーン購入ネットワークの会員数 | 団体 | 未設立 | 15 | 141 | 140 | 125 | 18 | 1 | 市町村合併に伴う若干の会員数変動があった。 | 県民 |
| 127 | リサイクル製品の認定* | | 認定制度なし | 15 | 制度創設 | 推進 | 制度創設 | 16 | 1 | 平成16年度及び平成17年度に本制度によるリサイクル製品等を認定。（認定リサイクル製品12品目、認定3Rモデル事業所9事業所） | 県民 |
| 128 | リサイクル率*（一般廃棄物） | % | 14.8 | 13 | 17.7 | | 22 | 17 | 2 | リサイクル率は順調に向上しているものの、目標達成するためには、さらにリサイクルを推進する必要がある。（実績は翌年度に判明） | 県民 |
| 129 | リサイクル率（産業廃棄物） | % | 46.8 | 10 | | | 54 | 17 | - | 平成15年度実績は55.0%で目標値に達している。（調査は5年に1度） | 県民 |
| 130 | 1人1日当たりのごみ排出量 | g | 1,033 | 13 | 1,031 | | 945 | 17 | 3 | ごみを生み出す現在のライフスタイルの変更がなかなか浸透しないため、ごみ排出量はここ数年横ばい状態である。引き続き、ごみ発生・排出抑制の普及啓発を推進していく。（実績は翌々に判明） | 県民 |
| 131 | 使用済み農業生産資材（各種ビニール類）回収率 （回収実績/想定排出量×100） | % | 78 | 14 | 81.9 | 69.9 | 80 | 18 | 2 | 平成17年度の回収率は低下しているが、これは長期展張フィルムが普及し排出量が減少しているものの、分母である想定排出量を平成16、17年度とも同じとしているため、実質の回収率は順調に向上していると考えられる。 | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|--------------------|---------------------------------|----|------|----------|----------|------|-------------|----|---------|---|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 132 | 塩化ビニール類再生率（再生処理量／回収量×100） | % | 24 | 14 | 77.3 | 92.2 | 30 | 18 | 1 | 県協議会による一元処理が奏功し、当初目標は達成している。 | 農林 |
| 133 | 畜産農家におけるふん尿処理施設（堆肥舎）の整備率 | % | 83 | 14 | 88 | 87 | 95 | 18 | 2 | 施設整備農家の廃業に伴い整備率は低下しているが、家畜排せつ物の処理を簡易な施設で対応している経営体に対し、処理施設の整備を進めた。 | 農林 |
| 134 | ごみ処理広域化施設*整備数 | 施設 | 0 | 15 | 0 | 1 | 1 (供用開始) | 17 | 1 | 計画どおり平成17年8月に供用開始した。 | 県民 |
| 135 | 徳島東部臨海処分場整備 | | 整備中 | 15 | 整備中 | 整備中 | 整備完了 | 18 | 2 | 遮水矢板等の整備を行い、完成へ向け順調に進捗している。 | 県土 |
| 136 | 不法投棄監視ボランティア育成数（累計） | 人 | 制度なし | 15 | 60 | 187 | 360 | 18 | 2 | 平成16年度は低調であったが、平成17年度は単年度目標値を達成した。 | 県民 |
| 137 | 産業廃棄物処理業者法知識・処理技術研修受講者（累計） | 業者 | 未実施 | 14 | 161 | 244 | 180 | 17 | 1 | 平成17年度末の目標値を順調に達成した。 | 県民 |
| 6 自然との共生の推進 | | | | | | | | | | | |
| 138 | 生物多様性の確保のための方針の策定 | | 未策定 | 14 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 「徳島県における生物多様性の保全に関する制度」を考案し調査検討の目標を達成した。 | 県民 |
| 139 | 希少野生生物の保護を体系的・総合的に図っていくための条例の制定 | | 検討 | 16 | | 制定 | 制定 | 17 | 1 | 徳島県環境審議会での検討やパブリックコメントを踏まえ、平成18年3月に条例を公布・一部施行した。 | 県民 |
| 140 | ビオトープの保全、復元、創出数（累計） | 箇所 | 5 | 14 | 21 | 25 | 30 | 18 | 2 | アドバイザー派遣により支援しており、順調に推移している。 | 県民 |
| 141 | 自然を再生する事業の実施地区数 | 箇所 | 0 | 14 | 1 | 1 | 2 | 18 | 2 | 竹ヶ島海中公園において、平成18年度に調査計画を実施することとなり、順調に推進できている。 | 県民 |
| 142 | 三嶺の適正利用のための施設整備箇所数 | 箇所 | 未整備 | 15 | 0 | 2 | 3 | 18 | 2 | 駐車場とトイレが完成、供用した。 | 県民 |
| 143 | 自然環境に配慮した公共事業の累計完了箇所数 | 箇所 | 37 | 14 | 43 | 53 | 54 | 18 | 2 | 谷内川他において事業を実施しており、目標達成に向けて順調に進捗している。 | 県土 |
| 144 | 自然環境調査に基づく事業計画策定地区数 | 地区 | 9 | 15 | 17 | 23 | 27 | 18 | 2 | 17年度新たに自然環境に配慮した農業農村整備事業6地区（累計23地区）に着手した。 | 農林 |
| 145 | 自然との共生の農村づくりの実施地区数 | 地区 | 6 | 15 | 8 | 10 | 12 | 18 | 2 | 自然・景観に配慮した工法を採用した農村づくりを計画的に推進している。また、間伐材の利用促進にも貢献している。 | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|----------------------------|------------------------------|-----|--------|-----|----------|--------|----------|----|---------|---|----|
| | | | | 年度 | (平成16年度) | | (平成17年度) | 年度 | | | |
| 7 環境重視の多様な森林づくり | | | | | | | | | | | |
| 146 | 環境重視の多様な森林づくり面積（平成14年度からの累計） | h a | 6,824 | 14 | 22,707 | 29,975 | 35,010 | 18 | 2 | 平成17年度から始まった徳島県間伐等推進計画及び林業再生プロジェクトにより着実に推進できている。 | 農林 |
| 147 | 間伐実施面積（平成14年度からの累計） | h a | 6,762 | 14 | 22,399 | 29,461 | 34,300 | 18 | 2 | 平成17年度から始まった徳島県間伐等推進計画に基づき、着実に間伐の推進が図れている。 | 農林 |
| 148 | 複層林誘導面積（平成14年度からの累計） | h a | 62 | 14 | 308 | 514 | 710 | 18 | 2 | 針広混交林など複層林への誘導が図れている。 | 農林 |
| 149 | 保安林指定面積 | h a | 85,272 | 14 | 91,352 | 92,005 | 89,950 | 18 | 1 | 指定手続きが順調に進んでおり、適切な森林の管理について、さらに保安林の指定を推進する。 | 農林 |
| 150 | 「森林づくり支援金*」の交付対象とする面積 | h a | 30,826 | 14 | 40,137 | 39,194 | 40,000 | 18 | 2 | 平成16年度は目標数値を達成しているが、平成17年度から治山事業での森林整備実施箇所が交付対象外となったため減少した。 | 農林 |
| 151 | 森づくりボランティア*の参加者数 | 人 | 383 | 14 | 1,041 | 1,719 | 1,000 | 18 | 1 | 県民の森づくりへの理解浸透を図り、今後も、ボランティア活動を積極的に推進していく。 | 農林 |
| 152 | NPO等の森づくり活動拠点*数 | 箇所 | 6 | 15 | 7 | 7 | 8 | 18 | 2 | 関係者の協力により、拠点づくりを進める。 | 農林 |
| 基本目標4「安全・安心とくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1 危機管理のための体制づくり | | | | | | | | | | | |
| 153 | 災害関係専門家数（耐震診断技術者＋被災宅地危険度判定士） | 人 | 29 | 14 | 350 | 350 | 329 | 18 | 1 | 平成16年度に養成講習会を開催した結果、目標を達成した。 | 県土 |
| 154 | 知事直轄管理組織の設置 | | 未設置 | 15 | 設置 | 拡充 | 設置 | 16 | 1 | 平成16年4月に知事直轄組織「防災局」を設置、平成17年4月には「危機管理局」へ組織を改組し、南海地震をはじめとする自然災害、有事やテロなどの危機事象について、県の危機管理全般を統括する組織を設置した。 | 危機 |
| 155 | 国民保護計画の策定 | | 未作成 | 16 | | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 平成18年3月に「徳島県国民保護計画」を策定し、目標を達成した。 | 危機 |
| 156 | 防災情報提供・緊急連絡システムの整備 | | 未整備 | 16 | | 整備 | 整備 | 17 | 1 | 携帯メールによる県職員・県民等への防災情報の配信システム等を整備した。 | 危機 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|----------------------------|------------------------------|-----|-------------------------|----|-----------------|-----------------|---------------|------------|-----|--|----|
| | | | | 16 | 15 | 17 | 18 | | | | |
| 157 | 災害対策本部機能の強化 | | 未整備 | 16 | | 整備 | 整備 | 17 | 1 | 防災情報統合管理システムとの連携や防災情報収集のための環境を災害対策本部に整備した。 | 危機 |
| 158 | 総合情報通信ネットワークシステム*の再整備 | | 未着手 | 15 | 基本構想策定 | 実施設計 | 整備中 (整備完了) | 18 (19) | 2 | 平成18・19年度の整備工事に向け実施設計を終えた。 | 危機 |
| 159 | ヘリコプターテレビ伝送中継システム整備 | | 未着手 | 15 | 整備中 | 整備完了 | 整備完了 | 17 | 1 | 整備工事を終えた。 | 危機 |
| 160 | 防災センター年間利用者数 | 人 | 整備完了 | 15 | 38,946 | 37,444 | 10,000 | 18 | 1 | 平成16年7月3日にオープンし、防災に関する体験学習、研修の場としての防災啓発施設として、利用者は順調に推移している。 | 危機 |
| 161 | 耐震相談件数 | 件 | 41 | 14 | 123 | 132 | 100 | 18 | 1 | 南海地震等への関心の高まりにより、相談件数は順調に推移している。 | 県土 |
| 162 | 耐震診断技術者養成人数 | 人 | 0 | 14 | 179 | 179 | 200 | 16 | 2 | 平成16年度に養成講習会を開催した結果、目標をほぼ達成した。 | 県土 |
| 163 | 被災宅地危険度判定土数 | 人 | 29 | 14 | 171 | 171 | 129 | 16 | 1 | 平成16年度に養成講習会を開催した結果、目標を達成した。 | 県土 |
| 164 | 住宅再建支援制度の整備 | | 制度なし | 15 | 制度創設 | 運用 | 制度創設 | 16 | 1 | 平成16年4月に、被災者生活再建支援制度に居住安定支援制度が創設された。 | 危機 |
| 165 | 不正侵入防止設備*を完備している外航船用の公共港湾施設数 | 施設 | 0 | 15 | 5 | | 5(対象全施設整備完了) | 18 | 1 | 平成16年度に対象全施設の整備が完了。 | 県土 |
| 2 とくしま 0 (ゼロ) 作戦の展開 | | | | | | | | | | | |
| 166 | 南海地震発生時における死亡者数 | 人 | 1,500人(うち津波によるもの1,100人) | | - | | 0 | | | 防災対策の資料とするため、津波浸水予測調査や地震動被害想定調査を実施し、公表した。また、地震防災対策を計画かつ効果的に推進することを目的に「徳島県地震防災対策行動計画」を策定した。 | 危機 |
| 167 | 自主防災組織率* | % | 43.8 | 14 | 54.6 | 56.8 | 65 | 18 | 2 | 防災センターを拠点に研修会等を開催するなど、自主防災組織の育成に努めている。 | 危機 |
| 168 | 津波避難計画の策定のための指針の策定 | | 検討 | 15 | 策定 | 促進 | 策定 | 16 | 1 | 平成14、15年度に実施した津波浸水予測調査結果を踏まえ、津波避難計画策定指針を平成16年度に策定した。 | 危機 |
| 169 | 津波避難計画策定市町村数 | 市町村 | 0 | 15 | 3 | 4 | 12(対象市町すべて) | 18 | 2 | 沿岸8市町(市町村合併後の市町村数)のうち、半数の4市町において計画を策定している。 | 危機 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|-----|----------------------------------|----|-----------|----|-----------------|-----------------|----------------|---------------|-----|--|----|
| | | | | 16 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | |
| 170 | 地域防災力強化促進のための補助制度 | | メニュー事業で実施 | 16 | | 単独補助制度の創設 | 単独補助制度の創設 | 17 | 1 | 地域防災力強化促進事業費補助金として再構築し、自主防災活動の結成・活動活性化を支援する事業などを行う市町村に対して補助することにより、地域防災力の強化・促進を図った。 | 危機 |
| 171 | 災害ボランティアリーダー等育成講習会参加者数(累計) | 人 | 230 | 15 | 520 | 1,199 | 1,000 | 18 | 1 | 防災センターを拠点に研修会等を開催するなど、災害ボランティアリーダー等の育成に努めた。 | 危機 |
| 172 | 防災教育推進モデル校の指定(累計) | 校 | 未実施 | 16 | | 6 | 12 | 18 | 2 | 各モデル校において災害発生時における防災対応能力の向上を目指し、防災教育を推進した。 | 教育 |
| 173 | 災害拠点病院の耐震化数 | 病院 | 2 | 14 | 4 | 4 | 5 | 18 | 2 | 17年度には麻植協同病院の新館の耐震補強工事を終え各病院の整備が順調に進んでいる。 | 保健 |
| 174 | 災害拠点病院の災害対応設備保有数 | 病院 | 1 | 14 | 1 | 2 | 7 | 18 | 2 | 17年度には徳島赤十字病院にエアートント等整備し、今後も各病院の整備を図っていく。 | 保健 |
| 175 | 県立学校改築数(改築工事着手校数累計) | 校 | 3 | 15 | 5 | 5 | 7 | 18 | 2 | 城南高校改築に係る校舎改築工事、富岡東羽ノ浦分校改築に係る校舎改築工事を実施。 | 教育 |
| 176 | 耐震診断実施校数(累計) | 校 | 未実施 | 15 | 4 | 10 | 21(対象となる学校すべて) | 18 | 2 | 平成17年度は6校(名西、城西、城ノ内高等学校及び国府養護、板野養護、鴨島養護学校)の耐震診断を実施。(平成16年度は4校で実施) | 教育 |
| 177 | 県有建築物の耐震診断実施件数(学校を除く) | 施設 | 1 | 15 | 8 | 11 | 29 | 16 ~ 18 | 2 | 平成17年度診断予定の3施設全ての診断を実施した。平成18年度は、診断予定の2施設を実施し、残り14施設は各管理者における施設のあり方の検討を踏まえて診断を実施する。 | 危機 |
| 178 | 浅川港津波防波堤の整備率 | % | 80 | 15 | 93 | 97 | 100 | 18 | 2 | 平成18年度の完成に向けて整備が順調に進んでいる。 | 県土 |
| 179 | 漁港施設及び漁港海岸施設の耐震診断実施件数 | 箇所 | 0 | 15 | 0 | 3 | 3 | 18 | 1 | 平成17年12月に完了した。 | 農林 |
| 180 | 要耐震橋梁(県管理の緊急輸送路における)の耐震化率 | % | 74.3 | 14 | 89.3 | 94.1 | 100 | 18 | 3 | 未広大橋や津田新橋(旧未広有料道路の橋梁部分)等における工事は、非常に高い技術が必要であり、かつ、コスト縮減などの検討に時間を要し工事着手が遅れているが、今後、順次工事着手し早期完成に努める。 | 県土 |
| 181 | 徳島小松島港赤石地区：耐震強化岸壁の進捗率 | % | 85 | 15 | 90 | 100 | 100 | 18 | 1 | 平成17年度に耐震強化岸壁の整備が完了し、引き続いてアクセス道路の整備を推進する。 | 県土 |
| 182 | 新耐震基準以前に建てられた既存木造住宅の耐震診断実施戸数(累計) | 戸 | 未実施 | 15 | 1,033 | 2,144 | 4,600 | 18 | 2 | 年度途中から事業実施の市町村も含め県内全市町村の取り組みが開始された。 | 県土 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|-----------------------|------------------------------------|----|---------|----------|----------|---------|---------|----|---------|---|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 183 | 耐震診断で改修が必要であると判断された住宅の耐震改修実施戸数(累計) | 戸 | 未実施 | 15 | 16 | 82 | 1,800 | 18 | 3 | 県内の6割の市町村で事業に取り組んだが、中には応募ゼロの町村もあり改修戸数は伸びなかった。このため、平成18年度は県内すべての市町村において取組を行うとともに、耐震化促進税制の周知や耐震改修に関する啓発を行う。 | 県土 |
| 184 | 災害図上訓練実施回数(累計) | 回 | 未実施 | 15 | 1 | 2 | 3 | 18 | 2 | 16年度、17年度に災害図上訓練を実施した。 | 危機 |
| 3 自然災害に強い県土づくり | | | | | | | | | | | |
| 185 | 重点整備河川*の整備率 | % | 61 | 14 | 61 | 66 | 73 | 18 | 3 | 桑野川において用地取得難航のため土地収用の手続きを行っている案件があるなど、一部工事が遅れているが、今後、早期用地取得に努め、順次工事を実施する。 | 県土 |
| 186 | 高潮水門の完成箇所数 | 箇所 | 7 | 15 | 8 | 9 | 11 | 18 | 2 | 冷田川において高潮水門が完成するなど、目標達成に向けて順調に進捗している。 | 県土 |
| 187 | 水門・排水機場の遠隔監視完成箇所数 | 箇所 | 0 | 15 | 0 | 0 | 3 | 18 | 2 | 多々羅、冷田、打樋の3排水機場において事業を行っており、平成18年度完成に向けて順調に進捗している。 | 県土 |
| 188 | 海岸侵食対策事業整備箇所数(累計) | 箇所 | 3 | 15 | 3 | 4 | 5箇所概成 | 18 | 2 | 鳴門海岸において整備が完了するなど、目標達成に向けて順調に進捗している。 | 県土 |
| 189 | 漁港海岸施設整備箇所数 | 箇所 | 3 | 15 | 4 | 4 | 4 | 18 | 1 | 1地区は完了し目標値は達成したが、引き続き2地区を追加して整備を進めている。 | 農林 |
| 190 | 土砂災害の危険性のある人家の保全数 | 戸 | 約17,500 | 15 | 約17,800 | 約18,300 | 約18,500 | 18 | 2 | ほぼ計画どおり進捗している。 | 県土 |
| 191 | 被災箇所の復旧進捗* | % | 85 | 16 | | 95 | 100 | 18 | 2 | ほぼ計画どおり進捗している。 | 県土 |
| 192 | 排水ポンプ車の配備 | 台 | 0 | 16 | | 2台 | 3台 | 18 | 2 | 計画どおり進捗している | 県土 |
| 4 食の安全・安心の推進 | | | | | | | | | | | |
| 193 | 食の安全・安心県民会議延べ参加者数(累計) | 人 | 100 | 16 | | 216 | 300 | 18 | 2 | 計画どおり推移している。 | 危機 |
| 194 | 食の安全・安心の推進に向けた条例の制定 | | 検討 | 16 | | 制定 | 制定 | 17 | 1 | 計画どおり「徳島県食の安全安心推進条例」を制定した。 | 危機 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|-----------------------|--|----|-------------|-----|-------------|------|-------------|----|---------|---|----|
| | | | | 年度 | (平成16年度) | | (平成17年度) | 年度 | | | |
| 195 | とくしま安2農産物認証件数(再掲) | 件 | 未整備 | 15 | 6 | 13 | 40 | 18 | 2 | 平成16年度に創設した制度であり、認定件数は増加している。制度周知のため、さらなるPRを実施する。 | 農林 |
| 196 | 個体識別対象とする家畜の種類数 | 種類 | 1 | 15 | 2 | 3 | 3 | 18 | 1 | 平成17年度徳島新鮮たまご生産情報公開システムを構築し全体計画どおり進捗している。 | 農林 |
| 197 | 安全・安心な畜産物を供給するための生産・加工・流通の各段階での必要な機械・施設整備箇所数 | 箇所 | 未整備 | 15 | 9 | 13 | 20 | 18 | 2 | 消費者が求めている安全・安心な畜産物を供給するための機械・施設整備を行い、目標達成に向け順調に推移している。 | 農林 |
| 198 | BSE全頭検査を継続実施 | | 実施中 | 15 | 実施中 | 実施中 | 実施中 | 18 | 2 | 平成13年10月18日よりBSE全頭検査を継続実施。 | 保健 |
| 199 | 農薬管理指導士*認定数 | 人 | 257 | 14 | 286 | 283 | 300 | 18 | 2 | 研修会を実施し、認定数確保に努めている。18年度も1月に実施予定。 | 農林 |
| 200 | 農薬適正使用アドバイザー*認定数 | 人 | 269 | 15 | 407 | 554 | 500 | 18 | 1 | 当初目標は達成しているが、18年度は更新年度にあたるため、ひきつづき研修を実施し、認定数を確保する。 | 農林 |
| 201 | 安全・安心な農畜産物を提供するための新しい技術開発数 | 件 | 0 | 15 | 0 | 0 | 3 | 18 | 2 | 安全・安心な野菜やかんきつ、畜産物を生産するための栽培技術、食肉識別技術などについて引き続き研究開発中である。 | 農林 |
| 202 | 防疫マップの作成 | | 未実施 | 16 | | 作成中 | 作成完了 | 18 | 2 | システムを構築するとともに、養鶏農家について全ての農家情報の入力を実施した。 | 農林 |
| 203 | 食品表示適正表示率(消費者モニタリング調査*結果による) | % | 79.6 | 15 | 90.9 | 92.4 | 90 | 18 | 1 | 平成18年度目標は達成した。 | 農林 |
| 204 | 食品衛生監視指導計画に基づく重点的監視指導 | | 未実施 | 15 | 実施 | 実施 | 実施 | 16 | 1 | 計画に基づく監視指導を実施している。 | 保健 |
| 5 とくしま安心ライフの実現 | | | | | | | | | | | |
| 205 | 救急搬送の救急医療圏別自己完結率*(90%以上) | 圏 | 90%以上 3圏 | 14 | 90%以上 2圏 | - | 90%以上 4圏 | 18 | 3 | 地域的な医療機関の偏在、医師不足による救急患者受入態勢の問題がある。例えば、患者の希望等により隣接する他医療圏の医療機関へ搬送する場合や3次症例(重篤患者)で救命救急センター(県下3箇所)へ圏域を越えて搬送する場合があるため、自己完結率90%を充足できない状況にある。引き続き救急医療体制の整備に努める。(17年度実績値は18年度に集計) | 保健 |
| 206 | 救命救急センターの整備 | 病院 | 2 | 15 | 2 | 3 | 3 | 18 | 1 | 平成18年度目標を達成した。 | 保健 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|--------------------|----------------------------------|-----|-------|----|-----------------|-----------------|--------|---------------|-----|---|----|
| | | | | 14 | 15 | 16 | | 17 | | | |
| 207 | 小児救急医療拠点病院の整備 | 病院 | 1 | 14 | 1 | 1 | 2 | 18 | 2 | 県立中央病院を休日・夜間の小児救急の拠点病院とするため、医療スタッフの体制確保を目指した。 | 保健 |
| 208 | 乳児死亡率*（千人当たり） | 人 | 3.5 | 14 | 3.1 | - | 3.0 | 18 | 2 | 乳幼児死亡率は順調に減少している。（17年度実績は18年10月頃判明する） | 保健 |
| 209 | 行政の医療相談窓口における相談者のうち「納得」した割合 | % | 41.8 | 14 | 43.2 | 56.7 | 50.0 | 18 | 1 | 研修等によって窓口対応員の資質の向上をはかり、患者と医療機関の間に立ってお互いの相互理解に努めた結果、目標を達成できた。 | 保健 |
| 210 | 消費者保護条例の見直し | | 検討 | 15 | 廃止制定 | 施行 | 改正 | 16 | 1 | 平成17年度は、条例に基づき消費者基本計画を策定した。 | 県民 |
| 211 | 消費生活の苦情処理・相談件数 | 件 | 7,500 | 15 | 12,125 | 7,359 | 10,000 | 18 | 2 | 平成16年度に12,125件を達成したが、架空請求の相談の沈静化により平成17年度は減少した。 | 県民 |
| 212 | 消費者基本計画の策定 | | 未策定 | 16 | | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 平成18年3月策定済み | 県民 |
| 213 | 県立中央病院改築のための施設設計の実施 | | 未実施 | 16 | | 基本設計 | 実施設計 | 18 | 2 | 改築のための基本設計に着手した。 | 病院 |
| 6 健康とくしまの実現 | | | | | | | | | | | |
| 214 | 3大疾病による壮年期死亡率*（壮年期人口10万人当たり人数） | 人 | 202.8 | 13 | 185.7 | - | 187.0 | 18 | 1 | 16年度実績は目標値に達している。（17年度実績は18年10月頃に判明する） | 保健 |
| 215 | 健康とくしま応援団*への加入数（累計） | 事業所 | 0 | 16 | | 27 | 150 | 18 | 2 | 募集開始が平成17年度途中からであり、実績値はまだ少ないが、申込数からして、目標達成に向け順調に推移している。 | 保健 |
| 216 | 禁煙サポート実施医療機関 | % | 26 | 15 | - | 20 | 60 | 18 | 3 | これまで行ってきた啓発を中心とした取り組みで、指標とする目標を達成するのは難しいが、平成18年6月1日から禁煙治療用補助薬が医療保険の適用を受けることになるなど、禁煙サポートの実施体制の整備に向けた環境は整ってきており、関係団体と連携しながら取り組みを強化していく。 | 保健 |
| 217 | 虐待予防、育児支援に重点を置いた乳幼児健診を実施している市町村数 | 市町村 | 23 | 15 | 23 | 21 | 全市町村 | 18 | 2 | 引き続き保健所を通じ各町村で取り組めるよう支援している。計画策定時に比較すると44市町村に相当。 | 保健 |
| 218 | 3歳児の一人平均う歯数 | 本 | 1.9 | 14 | 1.7 | - | 1.5 | 18 | 2 | 17年度実績値は18年7月頃に判明するが、16年度実績値は順調に推移している。 | 保健 |
| 219 | 医療機関内におけるSARSによる二次感染者数 | 人 | 0 | 14 | 0 | 0 | 0 | 16 ~ 18 | 1 | 医療機関内におけるSARSによる二次感染者はでていない。 | 保健 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|----------------------------|-----------------------|-----|----------------|----------|----------|---------|--------------|----|---------|---|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 220 | 地域リハビリテーション広域支援センター*数 | 箇所 | 3 | 15 | 3 | 6 | 6 | 18 | 1 | 2次保健医療圏毎に6箇所の指定を行った。 | 保健 |
| 221 | 地域等に合わせた栽培・指導の普及 | 市町村 | 未実施 | 15 | 20 | 全市町村で調査 | 全市町村 | 18 | 1 | 全市町村において植生・栽培調査を実施し、薬用植物に関する正しい知識の啓発を行い、県民の健康増進を図った。 | 保健 |
| 7 犯罪や交通事故のないまちづくり | | | | | | | | | | | |
| 222 | 刑法犯認知件数* | 件 | 12,369 | 15 | 10,552 | 9,655 | 15年対比で抑止(減少) | 18 | 1 | 15年対比で - 21.9% (現況・実績値・目標値とも暦年) | 警察 |
| 223 | 交通事故による死者数 | 人 | 83.2 (過去10年平均) | 15 | 58 | 68 | 70人台以下 | 18 | 1 | 関係機関・団体をはじめ、県民の協力の下、目標を達成した。(現況・実績・目標値とも暦年) | 警察 |
| 224 | 対象地域における街頭犯罪*件数 | 件 | 4,348 | 15 | 3,295 | 2,783 | 15年対比10%減 | 18 | 1 | 15年対比で - 36.0% (現況・実績値・目標値とも暦年) | 警察 |
| 225 | 対象地域における侵入窃盗*の発生件数 | 件 | 650 | 15 | 604 | 528 | 15年対比10%減 | 18 | 1 | 15年対比で - 18.8% (現況・実績値・目標値とも暦年) | 警察 |
| 226 | 迷惑防止条例の改正 | | 改正 | 15 | 施行 | 施行 | 施行 | 16 | 1 | 16年6月の条例施行後、対象地域でハント族が激減した。 | 警察 |
| 227 | 犯罪被害者支援連絡協議会の開催回数 | 回 | 15 | 15 | 11 | 6 | 15 | 18 | 3 | 開催時期が、衆議院議員総選挙等により変更された警察の諸行事と重なったことから、結果的には計6回の開催となった。今後は、全警察署において開催するよう努める。 | 警察 |
| 228 | シートベルト着用率 | % | 89.6 | 15 | 88.5 | 88.8 | 95 | 18 | 2 | 平成17年度中のシートベルトの着用率は88.8%で、前年の88.5%を0.3ポイント上回った。チャイルドシートの使用率についても59.5%と前年の57.0%を2.5ポイント上回った。 | 県民 |
| 229 | あんしん歩行エリアの事業実施箇所数 | 箇所 | 1 | 15 | 2 | 3 | 7 | 19 | 2 | 平成18年度及び19年度で残り4エリアの整備を計画している。 | 警察 |
| 230 | 車両用LED式信号灯器の割合(再掲) | % | 10 | 15 | 14 | 17 | 18 | 18 | 2 | 毎年約200灯を計画的に整備している。 | 警察 |
| 基本目標5「いやしの国とくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1 いやしの国とくしまの体制づくり | | | | | | | | | | | |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|----------------------------|--|----|-------------------------|----|-----------------|-----------------|-----------------------|----|-----|---|----|
| | | | | 15 | 16 | 17 | | | | | |
| 231 | 文化振興に関する条例の制定 | | 検討 | 15 | 制定 | 施行 | 制定 | 16 | 1 | 平成17年3月30日に制定し、平成17年度は条例の普及啓発や文化振興に関する基本方針の策定に取り組んだ。 | 県民 |
| 2 とくしま子どものびのびプランの展開 | | | | | | | | | | | |
| 232 | 少人数学級（35人を上限とする学級編制）の導入 | 校 | 小学校1年に導入(学年2学級以上の学校が対象) | 15 | 36 | 43 | 小学校1・2年に導入(すべての学校が対象) | 17 | 1 | 小学校1・2年(すべての学校が対象)に導入した。 | 教育 |
| 233 | 一定規模以上の学級を有するすべての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置 | 人 | 30人以上の学級 | 15 | 329 | 317 | 25人以上の学級 | 17 | 1 | 25人以上の学級(すべての小・中学校が対象)に導入した。 | 教育 |
| 234 | スクールカウンセラー配置中学校数 | 校 | 20 | 14 | 40 | 56 | 55 | 17 | 1 | 6学級以上の全中学校(56校)については、スクールカウンセラーを派遣できる体制整備した。 | 教育 |
| 235 | 特別支援教育コーディネーター配置校の割合(幼・小・中) | % | 0 | 15 | 100 | 100 | 100 | 18 | 1 | 全幼稚園・小・中・高等学校に特別支援教育コーディネーターを配置した。 | 教育 |
| 236 | 盲学校・聾学校整備基本構想の策定 | | 未策定 | 16 | | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 新しい学校がめざす姿などを示した盲学校・聾学校整備基本構想を策定した。 | 教育 |
| 237 | 併設型中高一貫教育校の設置 | 校 | 0 | 15 | 1 | 1 | 2 | 18 | 2 | 平成18年4月、川島中学校・高等学校開校(平成16年4月、城ノ内中学・高等学校開校) | 教育 |
| 238 | オンリーワンハイスクール推進事業実施校(累計) | 校 | 0 | 15 | 15 | 33 | 45 | 18 | 2 | 平成17年度18校が事業を実施し、2月17日には生徒活動発表会を実施した。 | 教育 |
| 239 | 学校教育情報化研修参加者数(累計) | 人 | 0 | 15 | 29 | 296 | 150 | 18 | 1 | 教材作成に関する教員研修講座を実施した。また、e-ラーニングコンテンツ作成委員を委嘱し、e-ラーニング教材を作成した。 | 教育 |
| 3 生涯を通じた学びの推進 | | | | | | | | | | | |
| 240 | とくしま県民カレッジ入学者数(累計) | 人 | 5,421 | 14 | 6,801 | 7,230 | 7,400 | 18 | 2 | 毎年300~400人の入学者があり、計画どおり進んでいる。 | 教育 |
| 241 | 生涯学習情報システムへのアクセス件数 | 件 | 41,826 | 14 | 54,871 | 93,384 | 46,000 | 18 | 1 | 順調に推移している。 | 教育 |
| 242 | 徳島の人物・自然・文化に関する学習講座「オンリーワンとくしま学」受講者数(累計) | 人 | 0 | 15 | 1,517 | 3,958 | 900 | 18 | 1 | 3コース、計24回の講座を実施したので、目標値を超える受講者数となった。 | 教育 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|---------------------------|--------------------------|----|-------|----------|----------|-------|-------|----|---------|--|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 243 | 読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計) | 人 | 100 | 15 | 256 | 547 | 400 | 18 | 1 | 徳島県立図書館において講演会・巡回読み聞かせ会を実施することにより、達成することができた。 | 教育 |
| 244 | 家庭いきいき支援者養成講座受講者数(累計) | 人 | 0 | 15 | 282 | 450 | 450 | 18 | 1 | 17年度より新たにステップアップ研修講座を開設することにより、達成することができた。 | 教育 |
| 245 | 起業家教育実施6校における受講生徒数合計(累計) | 人 | 1,197 | 15 | 2,349 | 2,349 | 3,600 | 16 | 3 | 実施校6校で起業家教育講習会等を実施したが、就職を控えた3年生対象の内容になったこと、2校がオンリーワンハイスクール推進事業の取組と内容が重なったことから、受講生が予定より少なかった。なお、オンリーワンハイスクール推進事業で起業家教育に取組んだ生徒(997名)を加えると、3,346名となる。今後はオンリーワンハイスクール推進事業などの中で継続的に高校生の起業家教育に取り組んでいく。 | 教育 |
| 246 | 教育情報ネットワークの構築 | | 整備中 | 15 | 整備完了 | 運用 | 整備完了 | 16 | 1 | 徳島県立総合教育センターと県教委事務局、県立学校を接続したイントラネットを構築し、運用した。 | 教育 |
| 247 | 総合教育センターの整備 | | 整備中 | 15 | 整備完了 | 供用 | 整備完了 | 16 | 1 | 平成16年11月に開所し、学校支援、情報教育支援、特別支援、生涯学習支援の中核として運用されている。 | 教育 |
| 4 明日のとくしまを担う青少年づくり | | | | | | | | | | | |
| 248 | 青少年リーダー・指導者の育成数(累計) | 人 | 137 | 15 | 216 | 272 | 290 | 18 | 2 | 県下各地域における青少年リーダー・指導者の養成を促進している。 | 県民 |
| 249 | チャレンジする青少年の紹介人数(累計) | 人 | 23 | 15 | 35 | 43 | 33 | 16 | 1 | 自分の生き方にチャレンジする青少年を紹介し、健全育成の啓発に努めた。 | 県民 |
| 250 | 青少年健全育成助成団体数(累計) | 団体 | 37 | 15 | 75 | 75 | 67 | 17 | 1 | 地域における青少年健全育成活動への支援により、青少年が多様な人間関係を経験できる場を充実させることができた。 | 県民 |
| 251 | 青少年リーダーの育成人員(累計) | 人 | 0 | 15 | 42 | 72 | 90 | 18 | 2 | 青少年の自主的・主体的な活動を促進し、青少年リーダーの資質向上を図っている。 | 県民 |
| 252 | 青年洋上大学の参加青年数(累計) | 人 | 0 | 15 | 15 | 27 | 45 | 18 | 2 | 青年を海外に派遣し、国際的視野の拡大に努めている。 | 県民 |
| 253 | 青少年育成出前講座参加者数(累計) | 人 | 137 | 15 | 174 | 200 | 200 | 18 | 1 | 県下全域の青少年指導者を養成し、青少年活動の活性化を促進している。 | 県民 |
| 5 あわ文化の創造・発信 | | | | | | | | | | | |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|--------------------|--|----------------|-------|----|-----------------|-----------------|-------|----|-----|---|----|
| | | | | 14 | 15 | 16 | | 17 | | | |
| 254 | 世界レベルの芸術文化に接する機会（公演等年間開催回数）＜音楽・芸能、演劇、舞踊＞ | 回 | 25 | 14 | 48 | 57 | 50 | 18 | 1 | 県及び県民文化祭開催委員会の主催のほか市町村にも呼びかけ効率的な事業展開に努めた。 | 県民 |
| 255 | 芸術文化活動行動者率* | % | 8 | 13 | - | - | 10以上 | 18 | - | 5年おきに国において実施している調査であり、途中年度の状況は不明である。 | 県民 |
| 256 | 文化振興に関する条例の制定（再掲） | | 検討 | 15 | 制定 | 施行 | 制定 | 16 | 1 | 平成17年3月30日に制定し、平成17年度は、条例の普及啓発や文化振興に関する基本方針の策定に取り組んだ。 | 県民 |
| 257 | インターネットによる伝統芸能情報発信（動画）数 | 回 | 0 | 15 | 4 | 12 | 10 | 18 | 1 | 阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルの模様をインターネットでライブ中継するとともに、建治寺での公演の模様などを動画情報として発信した。 | 県民 |
| 258 | 人形浄瑠璃フェスティバル*入場者数 | 人 | 1,300 | 16 | | 1,513 | 1,600 | 18 | 2 | 伝統文化への関心が高まってきており、ほぼ目標値に近づけることができた。 | 県民 |
| 259 | 「守護町勝瑞遺跡」発掘調査面積（累計） | m ² | 0 | 15 | 2,400 | 4,800 | 7,200 | 18 | 2 | 史跡整備の基礎資料を得るとともに、隣接地で国内最大級の庭園を検出した。 | 教育 |
| 260 | 文化の担い手養成研修受講者数（累計） | 人 | 20 | 15 | 244 | 685 | 100 | 18 | 1 | 県が実施した演奏会の出演者を講師とした実技指導を開催したほか、国民文化祭に向けて徳島交響楽団のスキルアップ事業を実施した。 | 県民 |
| 261 | 全国高等学校総合文化祭開催 | | 準備 | 15 | 開催 | | 開催 | 16 | 1 | 平成16年7月30日から5日間、全国及び海外より2,826校、17,050名の参加を得て、文化活動の発表や交流を行った。 | 教育 |
| 262 | 国民文化祭開催準備 | | 未実施 | 15 | 準備中 | 準備中 | プレ祭開催 | 18 | 2 | 国民文化祭開催に向け、市町村、文化団体との調整をすすめ、事業別実施計画(案)の策定を行った。 | 県民 |
| 263 | 日本文化デザイン会議開催 | | 開催準備 | 16 | | 準備中 | 開催 | 18 | 2 | 第28回日本文化デザイン会議'06Inとくしま実行委員会を設立、実施計画を審議し、サポーターズイベント「にぎわい88」を開始した。 | 県民 |
| 6 いやしの空間づくり | | | | | | | | | | | |
| 264 | いやしのみち登録距離数（累計） | km | 60 | 14 | 141 | 146 | 110 | 18 | 1 | NPO法人に、業務の一部を委託するなど、推進を図っている。 | 商工 |
| 265 | 四国のみち（歴史文化道、新四国の道）の整備事業実施箇所数 | 箇所 | 1 | 15 | 3 | 4 | 3 | 18 | 1 | 新たに勝浦町において事業を実施した。 | 県土 |
| 266 | 「徳島むらづくり維新*」の計画策定地区数 | 地区 | 6 | 15 | 6 | 8 | 10 | 18 | 2 | 農業支援センター等、関係機関との連携強化により、目標達成に向け順調に推移している。 | 農林 |
| 267 | 新町川河畔ひかりプロムナードの整備 | | 整備中 | 15 | 推進 | 整備完了 | 整備完了 | 17 | 1 | 公共事業の重点化を図る中で、一連の事業効果が発揮できるかちどき橋までの河川工事の完了をもって、暫定完成とした。 | 県土 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | | 実績値 | | 目標値 | | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----|-----------------------------------|----|---------------------------|-----------------------|-----------------------|----|-----|--|----|
| | | | 年度 | 年度 | (平成16年度) | (平成17年度) | 年度 | 年度 | | | |
| 268 | 「いやしのみち」ホームページアクセス件数(累計) | 万件 | 18 | 14 | 29 | 30 | 30 | 18 | 1 | 平成17年度、ホームページをバージョンアップした。 | 商工 |
| 7とくしまスポーツ王国づくり | | | | | | | | | | | |
| 269 | 四国初のJリーグチームの実現 | | Jリーグ推進協議会の設置 | 15 | Jリーグチームの実現 | Jリーグチームの実現 | Jリーグチームの実現 | 16 | 1 | 四国初のJリーグチーム「徳島ヴォルティス」が実現し、Jリーグディビジョン2(J2)に参戦した。 | 商工 |
| 270 | Jリーグホームスタジアムのための施設整備 | | 未整備 | 15 | 整備完了 | 供用 | の常緑化・照明設備の改修 | 16 | 1 | 平成17年3月12日以降、Jリーグ公式戦においてヴォルティスのホームゲームに使用されている。 | 県土 |
| 271 | プロ野球公式戦開催のための施設整備 | | 未整備 | 15 | 整備完了 | 供用 | グラウンドの拡張 | 16 | 1 | 平成17年3月3日の阪神・西武オープン戦等に使用されている。 | 県土 |
| 272 | 国民体育大会出場候補選手のメディカルチェック受診率 | % | 71.1 | 15 | 79.0 | 80.3 | 85 | 18 | 2 | メディカルチェックへの意識が定着してきた。 | 教育 |
| 273 | スポーツ講習会参加者数 | 人 | 5,965 | 14 | 2,031 | 6,086 | 6,600 | 18 | 2 | 事業手法の変更に伴い実績値が目標値に比べ低くなっているが、スポーツニーズの高まりにより子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加があった。 | 教育 |
| 274 | 南部健康運動公園の整備 | | 整備中 | 15 | 整備推進 | 整備推進 | 野球場の整備完了 | 18 | 2 | 目標達成に向けて推進している。 | 県土 |
| 275 | 総合型地域スポーツクラブ*の設立数 | クラブ | 0 | 15 | 11 | 13 | 20 | 18 | 2 | 13クラブが設立済みであり、平成18年度も引き続きクラブ設立の創設及び準備に努める。 | 教育 |
| 基本目標6「ユニバーサルとくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1ユニバーサルとくしまの体制づくり | | | | | | | | | | | |
| 276 | 次世代育成支援対策推進法*に基づく行動計画の策定・推進 | | 検討 | 15 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 17年度は、16年度に策定した行動計画の普及啓発に努めるとともに、社会全体で子育てを支えるための行動指針となる「徳島はぐくみ子育て憲章」を策定。 | 保健 |
| 277 | ユニバーサルデザイン基本指針の策定 | | 検討 | 15 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 平成17年3月に基本指針を策定し、平成17年度からは普及啓発など推進に努めている。 | 企画 |
| 278 | 人権教育・啓発に係る計画の推進 | | 「人権教育のための国連10年」徳島県行動計画の推進(16年末まで) | 15 | 「人権教育のための国連10年」徳島県行動計画の推進 | 徳島県人権教育・啓発に関する基本計画の推進 | 徳島県人権教育・啓発に関する基本計画の推進 | 17 | 2 | 平成16年度に策定した「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進している。 | 保健 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 |
|--------------------------|--|------|-----------------------|-----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------|----|--|----|
| | | | | 年度 | 年度 | | | 年度 | 年度 | | |
| 279 | 人権教育の推進 | | 徳島県教育振興基本構想による人権教育の推進 | 15 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 16 | 2 | 平成16年4月から学校教育及び社会教育両面にわたり各種研修会で推進方針の普及に努めてきた。平成18年度中に完了をめざす。 | 教育 |
| 2 男女共同参画立県とくしまの実現 | | | | | | | | | | | |
| 280 | 県審議会委員等の女性の選任割合 | % | 25 | 14 | 36.2 | 40.3 | 40 | 17 | 1 | 目標を達成した。 | 県民 |
| 281 | 本格的な男女共同参画推進拠点施設の整備 | | 計画 | 15 | 実施設計 | 整備中 | 供用 | 18 | 2 | 工事は順調に進んでいる。平成18年11月供用開始予定。 | 県民 |
| 282 | 男女共同参画総合講座修了者数（累計） | 人 | 0 | 15 | 32 | 82 | 120 | 18 | 2 | 人材育成を図る講座として、修了者数も順調に推移している。 | 県民 |
| 283 | 農業関連女性起業家数（個人） | 人 | 11 | 14 | 25 | 32 | 30 | 18 | 1 | 農業関連の起業活動に関する講座を開催することにより、起業家をめざす女性が育ち、目標を達成した。 | 農林 |
| 284 | 農業関連女性起業家数（グループ） | グループ | 93 | 14 | 95 | 100 | 120 | 18 | 2 | 女性起業家・グループによる農業関連の起業活動に関する講座を開催し意欲的な起業家を育成している。 | 農林 |
| 285 | 家族経営協定*締結数 | 戸 | 359 | 15 | 547 | 587 | 500 | 18 | 1 | 制度に対する理解が深まり目標は達成した。農業経営に意欲的に取り組むようになった女性農業者が出てきている。 | 農林 |
| 286 | 「女と男（ひととひと）のフェスティバルとくしま」参加者数（累計） | 人 | 5,330 | 15 | 6,130 | 6,880 | 7,600 | 18 | 2 | 身近な問題としての理解を得られる内容とし、参加者数も順調に推移している。 | 県民 |
| 287 | 「農山漁村男女共同参画啓発セミナー」参加者数（累計） | 人 | 239 | 14 | 377 | 447 | 439 | 18 | 1 | 農山漁村における男女共同参画啓発セミナーを継続して開催し、目標を達成した。 | 農林 |
| 288 | 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づく基本計画の策定 | | 未策定 | 16 | | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 平成17年12月に「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」を策定した。 | 県民 |
| 3 健やか子育て環境づくり | | | | | | | | | | | |
| 289 | 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定・推進（再掲） | | 検討 | 15 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 17年度は、16年度に策定した行動計画の普及啓発に努めるとともに、社会全体で子育てを支えるための行動指針となる「徳島はぐくみ子育て憲章」を策定。 | 保健 |
| 290 | 児童福祉業務研修会受講者数 | 人/年 | 未実施 | 15 | 約2100 | 3,200 | 2,000 | 16 ~ 18 | 1 | 予定を上回る約3,200人の受講者数となった。 | 保健 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 | | |
|-------------------------|------------------------|-----|-----|-----|----------|-----|-------|---------|----|---|----|
| | | | | 年度 | (平成16年度) | | | | | (平成17年度) | |
| 291 | 延長保育事業実施市町村数 | 市町村 | 36 | 15 | 34 | 23 | 45 | 18 | 1 | 延長保育実施市町村数は順調に伸びている。計画策定時(50市町村)に比較すると47市町村に相当。 | 保健 |
| 292 | 病後児保育*実施市町村数 | 市町村 | 9 | 15 | 7 | 9 | 15 | 18 | 1 | 病後児保育は、季節ごとの繁閑差から定員割れになる場合があること、資格を持った職員配置が必要なことから、郡部での実施が遅れているので、引き続き実施市町村の拡大に努める。計画策定時(50市町村)に比較すると16市町村に相当。 | 保健 |
| 293 | 育児休業取得者数(民間) | 人 | 848 | 14 | 860 | - | 1,700 | 18 | 3 | 出生率の低下、パートタイマーなどの非正規労働者の増加、育児休業をとりづらい「職場優先の風潮」や「長時間労働」など様々な要素により育児休業の取得者数が伸び悩んでいるものと思われる。 | 商工 |
| 294 | 放課後児童クラブの設置数 | クラブ | 91 | 15 | 98 | 102 | 110 | 18 | 2 | 未実施地域における新たな取り組みは、順調に推移している。 | 保健 |
| 295 | 地域子育て支援センター*等 | 箇所 | 63 | 14 | 74 | 79 | 80 | 18 | 2 | 地域子育て支援センターの施設数は、全県下で着実に伸びている。 | 保健 |
| 296 | ファミリーサポートセンター設置箇所数(累計) | 箇所 | 3 | 16 | | 4 | 5 | 18 | 2 | 平成18年度に新たに美馬市に設置予定である。 | 商工 |
| 297 | 児童虐待防止市町村ネットワーク設置率 | % | 46 | 14 | 81 | 95 | 100 | 18 | 2 | 児童虐待防止市町村ネットワーク設置率は順調に伸びており、18年度に達成の見込み。 | 保健 |
| 298 | 不妊治療費助成件数(累計) | 件 | 未実施 | 15 | 107 | 243 | 600 | 18 | 3 | 平成16年度107件、平成17年度136件と助成件数は増加しているものの、累積数は伸び悩んでいる。国の制度改革により、平成18年度から2年の助成期間が5年に延長される予定であることから、一層の制度周知に努め、助成件数の増加を図る。 | 保健 |
| 4 高齢者いきいきとくしまの推進 | | | | | | | | | | | |
| 299 | シルバー大学院の創設 | | 未設置 | 15 | 創設 | 推進 | 創設 | 16 | 1 | 平成16年9月開講し、平成17年度において卒業生を対象に地域のリーダーになっていただくための「シルバー人材バンク-生きがい推進員-」を設置した。 | 保健 |
| 300 | 徳島県健康福祉祭参加者数 | 万人 | 10 | 14 | 7 | 6 | 10 | 18 | 2 | 開催期間中天候不良のため、参加者数が少なかったが、平成18年度はスポーツ交流大会の種目数の増等により、10万人近くは参加する予定である。 | 保健 |
| 301 | シルバー人材センターが設置されている市町村 | 市町村 | 39 | 15 | 35 | 22 | 全市町村 | 18 | 2 | 合併による統合もあり、順調に拡大してきている。計画策定時(50市町村)に比較すると44市町村に相当 | 保健 |
| 302 | 高齢農業者人材バンク登録者数 | 人 | 89 | 14 | 137 | 162 | 200 | 18 | 2 | 高齢農業者等が、生きがいを持って活動する環境づくりを推進している。 | 農林 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 |
|------------------------------|------------------------------|----|--------|----|----------|----------|--------|-----|----|--|----|
| | | | 年度 | 年度 | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | |
| 5 とくしまハンディキャップ・フリーの推進 | | | | | | | | | | | |
| 303 | 要援護高齢者等への配食サービスや緊急通報装置等の利用人数 | 人 | 10,780 | 14 | 9,040 | 9,259 | 13,000 | 18 | 2 | 国の制度改正等により、「配食サービス」が「食の自立支援」に改められるなど事業項目が変化し、目標値との比較が困難になってきているが、内容的には概ね順調に推移している。 | 保健 |
| 304 | 高齢者住宅改造促進事業助成件数（からの累計） | 件 | 304 | 14 | 506 | 560 | 740 | 18 | 2 | 事業に対する需要もあり、順調に推移している。 | 保健 |
| 305 | 障害者交流プラザの整備 | | 整備中 | 15 | 整備中 | 整備完了 | 供用 | 18 | 1 | 整備工事をすべてを完了し、平成18年4月にオープンした。 | 保健 |
| 306 | 点訳奉仕員の養成（累計） | 人 | 730 | 14 | 776 | 789 | 850 | 18 | 2 | 養成数は順調に推移している。 | 保健 |
| 307 | 盲ろう者通訳・介助員派遣件数 | 件 | 0 | 15 | 770 | 1,194 | 1,140 | 18 | 1 | （福）全国盲ろう者協会が国の支援を受けて実施している「盲ろう者通訳ガイドヘルパー派遣事業」を活用している。 | 保健 |
| 308 | 障害者向けパソコン講座受講者数（累計） | 人 | 1,860 | 14 | 2,149 | 2,283 | 2,180 | 18 | 1 | 障害種別の講座を開催してきた。受講者数は目標値を達成した。 | 保健 |
| 309 | 知的障害者地域生活援助事業定員（累計） | 人 | 156 | 14 | 193 | 213 | 194 | 18 | 1 | 事業所の整備は着実に進んでいる。 | 保健 |
| 310 | 精神障害者通所授産施設等の整備 | 箇所 | 27 | 14 | 31 | 34 | 40 | 18 | 3 | 順次整備は進んでいるものの、障害者自立支援法の施行等に伴う制度変更等により目標達成は難しくなっている。今後の施設整備については、新たな事業体系の下、障害福祉計画を策定する中で検討していく。 | 保健 |
| 311 | 授産活動収入 | 億円 | 3 | 14 | 3 | 3 | 4 | 16 | 3 | インターネットによる販売システムを構築するなど販売促進に努めたが、目標には至らなかった。なお現在も各授産施設とも活動に工夫をこらし収益力確保に努力している。 | 保健 |
| 312 | 障害者ヘルパー育成研修修了者数（累計） | 人 | 0 | 14 | 149 | 225 | 240 | 18 | 2 | 研修修了者は順調に推移している。 | 保健 |
| 313 | 精神障害者ホームヘルパー養成特別研修受講者数（累計） | 人 | 281 | 14 | 608 | 697 | 521 | 18 | 1 | 順調に受講者数をのばし、既に目標の受講者数を超えている。 | 保健 |
| 6 ユニバーサルなまちづくり | | | | | | | | | | | |
| 314 | ユニバーサルデザイン基本指針の策定（再掲） | | 検討 | 15 | 策定 | 推進 | 策定 | 16 | 1 | 平成17年3月に基本指針を策定し、平成17年度からは普及啓発など推進に努めている。 | 企画 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|-----------------------|--|----|-----------------------------------|----|---------------------------|-----------------------|-----------------------|----|-----|--|----|
| | | | | | | | | | | | |
| 315 | ユニバーサルデザインの考え方の県民の認知度 | % | 40 | 16 | | - | 80 | 18 | - | 平成18年度に調査を実施する予定である。なお、平成17年度に県職員を対象にアンケート調査を実施した結果では、UDの認知度は61%であった。 | 企画 |
| 316 | 「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」の策定 | | 検討 | 15 | 検討 | 策定 | 策定 | 17 | 1 | 平成17年7月に推進プランを策定し、既存公共施設のUD点検やUDの考え方に基づく公共事業の推進に努めている。 | 企画 |
| 317 | 「徳島やさしいまちづくり賞*」受賞施設数（累計） | 施設 | 48 | 15 | 50 | 54 | 57 | 18 | 2 | 受賞施設数は順調に推移している。 | 保健 |
| 318 | 3m以上の幅の歩道がある県管理道路の延長 | km | 95.7 | 14 | 110 | 116 | 118 | 18 | 2 | 目標に向けて順調に推移している。 | 県土 |
| 319 | 新町橋通線の再整備 | | 未整備 | 15 | 調査完了 | 調査完了 | 整備完了 | 18 | 3 | 交通バリアフリー法に基づく「道路特定事業計画」（H18.3策定）に基づき、平成19年度に事業着手する予定である。 | 県土 |
| 320 | 路線バス台数に占めるノンステップバス比率 | % | 7.6 | 14 | 15.9 | 18.9 | 15 | 18 | 1 | 計画を上回るペースでノンステップバスの導入が進み、平成16年度末時点において目標を達成した。 | 県土 |
| 321 | バリアフリー対応トイレ設置車両数 | 両 | 0 | 14 | 9 | 17 | 25 | 18 | 2 | 目標達成に向けて順調に推移している。 | 県土 |
| 322 | 相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人人数 | 人 | 1,247 | 14 | 2,356 | 2,573 | 2,500 | 18 | 1 | 相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人等が順調に推移し、目標を達成した。 | 県民 |
| 323 | 地域共生サポーター（在県外国人に対して生活相談等に応じる専門ボランティア）数 | 人 | 0 | 15 | 73 | 87 | 50 | 18 | 1 | 87名の地域共生サポーターを委嘱し、目標を達成した。 | 県民 |
| 7人権が尊重される社会づくり | | | | | | | | | | | |
| 324 | 人権教育・啓発に係る計画の推進（再掲） | | 「人権教育のための国連10年」徳島県行動計画の推進（16年未まで） | 15 | 「人権教育のための国連10年」徳島県行動計画の推進 | 徳島県人権教育・啓発に関する基本計画の推進 | 徳島県人権教育・啓発に関する基本計画の推進 | 17 | 2 | 平成16年度に策定した「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進している。 | 保健 |
| 325 | 人権教育の推進（再掲） | | 徳島県教育振興基本構想による人権教育の推進 | 15 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 徳島県人権教育推進方針による人権教育の推進 | 16 | 2 | 平成16年4月から学校教育及び社会教育両面にわたり各種研修会で推進方針の普及に努めてきた。平成18年度中に完了をめざす。 | 教育 |
| 326 | 人権教育啓発推進拠点の整備 | | 基本構想の策定 | 14 | 施設等の検討 | 施設等の決定 | 施設等の決定 | 18 | 1 | 平成19年度開館を目途に、県民が気軽に利用し学習できる拠点として「沖洲マリンターミナルビル」の一部を改修し、徳島県人権教育啓発推進拠点（仮称）を整備することを決定した。 | 保健 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|--------------------------------|--|--------|--------------|----|-----------------|------------------|------------------------|-------|-----|--|----|
| | | | | 13 | | | 18 | | | | |
| 327 | 同和問題の解決に向けた基本方針の推進 | | 基本方針の策定 | 13 | 基本方針の推進 | 基本方針の推進 | 基本方針の推進 | 18 | 2 | 平成13年度に策定した「同和問題の解決に向けて（基本方針）」に基づき、施策を計画的に推進している。 | 保健 |
| 基本目標7「にぎわいとくしま」の実現 | | | | | | | | | | | |
| 1とくしま大交流回廊（スーパーコリドー）の推進 | | | | | | | | | | | |
| 328 | 四国横断自動車道（鳴門～阿南）の整備 | | 設計協議中 | 15 | 設計協議調印数 17地区 | 設計協議完了 一部工事着手 | 工事施工中 | 18 | 1 | 平成17年に起工式を開催し、一部工事に着手。 | 県土 |
| 329 | 地域高規格道路 阿南安芸自動車道 日和佐道路の整備 | | 事業中（延長9.3km） | 14 | 事業中 | 事業中 | 美波町田井～美波町北川内約6.2kmが整備済 | 18 | 2 | 平成18年度の部分供用に向けて鋭意事業を進めている。 | 県土 |
| 330 | 国道55号阿南バイパス（全体延長21km）の供用延長 | km | 14.6 | 14 | 15.0 | 15.0 | 17.3 | 19 | 2 | 用地交渉、工事を鋭意進めている。 | 県土 |
| 331 | 徳島飛行場拡張 | | 整備中 | 14 | 整備中 | 整備中 | 完成供用 | 19 | 2 | 埋立等の整備を行っている。（平成19年度概成予定：四国地方整備局） | 県土 |
| 332 | 徳島空港利用旅行企画及び国際チャーター便助成の利用者数 | 人/年 | 未実施 | 15 | 1,374 | 1,128 | 5,000 | 16～18 | 2 | 他空港利用商品との競合により、徳島空港発着のチャーター便のメリットが減少していることから、各種助成事業を充実しPRに努める。 | 県土 |
| 2交通渋滞のないまちづくり | | | | | | | | | | | |
| 333 | 主要な国道（国管理）における渋滞損失時間* | 万人時間/年 | 1,400 | 14 | - | - | 1,260 | 19 | - | 国土交通省による車両の旅行速度を測定するシステムの改良により、現況値及び目標値が変更になったため、旧データによる実績値の算出が不可能となった。また、新システムによるデータについては、平成18年9月頃判明予定。 | 県土 |
| 334 | 主要県道の渋滞時における本町交差点までの平均到達時間 徳島鴨島線（石井引田線から） | 分 | 46 | 14 | 41 | 42 | 40 | 18 | 2 | 徳島鴨島線（常三島中島田線）の事業進捗により、時間短縮が図られた。 | 県土 |
| 335 | 主要県道の渋滞時における本町交差点までの平均到達時間 徳島鳴門線（広島ランプから） | 分 | 46 | 14 | 38 | 31 | 43 | 18 | 1 | 吉野川橋通線の4車線化完成により、時間短縮が図られた。 | 県土 |
| 336 | 主要県道の渋滞時における本町交差点までの平均到達時間 徳島小松島線（大林交差点から） | 分 | 51 | 14 | 36 | 34 | 40 | 18 | 1 | 徳島小松島線勝浦浜橋の4車線化の完成に伴い、時間短縮が図られた。 | 県土 |
| 337 | 放射・環状道路（総延長約58km）の供用延長（暫定・側道含む） | km | 24.6 | 14 | 31.1 | 31.6 | 33.9 | 18 | 2 | 各事業箇所の事業進捗が図られた。 | 県土 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|-------------------------|---------------------------------|-------|--------|----|-----------------|-----------------|-------|----|-----|---|----|
| | | | | 15 | 16 | 17 | | 18 | | | |
| 338 | 吉野川橋通線の4車線化(全体延長0.4km) | | 事業中 | 15 | 事業中 | 完成 | 完成 | 16 | 1 | 平成17年8月24日に4車線化完成済み。 | 県土 |
| 339 | 徳島小松島線勝浦浜橋の4車線化(全体延長1.1km) | | 事業中 | 15 | 完成 | 完成 | 完成 | 16 | 1 | 平成17年2月10日に4車線化完成済み。 | 県土 |
| 340 | 常三島中島田線(田宮街道)の4車線化(全体延長3.8km) | | 事業中 | 15 | 事業中 | 事業中 | 完成 | 17 | 3 | 4車線化工事と、新たに追加計画(H16.5)された電線類地中化工事を並行して施工中であり、完成は平成19年度になる見込みである。暫定供用等も行いながら、鋭意工事の完成に向け努力する。 | 県土 |
| 341 | 元町沖州線の4車線化(全体延長2.7km) | | 事業中 | 15 | 事業中 | 事業中 | 完成 | 18 | 3 | 4車線化工事と、新たに追加計画(H16.5)された電線類地中化工事を並行して施工中であり、完成は平成19年度になる見込みである。暫定供用等も行いながら、鋭意工事の完成に向け努力する。 | 県土 |
| 342 | 主要幹線国道における渋滞交差点(本町、大野、大林、佐古)の改良 | | 4箇所事業中 | 15 | 3箇所事業中 | 3箇所事業中 | 4箇所完成 | 19 | 2 | 直轄事業として、本町、大野、佐古交差点の事業促進が図られた。 | 県土 |
| 3 いいとくしま観光・交流の推進 | | | | | | | | | | | |
| 343 | 観光入り込み客数* | 万人 | 1,324 | 14 | 1,281 | - | 1,400 | 18 | 2 | 観光誘客促進に一層取り組む。台風等悪天候の影響により、観光シーズンの入込状況に影響を与えた。 | 商工 |
| 344 | 観光情報提供システム「阿波ナビ」アクセス件数(累計) | 万件 | 56 | 14 | 120 | 153 | 100 | 18 | 1 | なお一層、利用しやすく魅力的な情報提供を行う。 | 商工 |
| 345 | 「徳島観光ファンクラブ*」会員数(累計) | 人 | 1,700 | 14 | 2,071 | 3,418 | 3,000 | 18 | 1 | なお一層、徳島の魅力発信に努める。 | 商工 |
| 346 | 県内を舞台にしたテレビ、映画、CM等ロケ撮影支援件数 | 件 | 14 | 14 | 26 | 22 | 18 | 18 | 1 | 今後とも、情報の的確な提供とアテンドにより、マスコミへの露出拡大とイメージアップを図る。 | 商工 |
| 347 | 徳島市阿波おどり入り込み客数 | 万人 | 130 | 14 | 136 | 128 | 130 | 18 | 2 | 目標値はほぼ達成している。 | 商工 |
| 348 | はな・はる・フェスタ*入り込み客数 | 万人 | 25 | 14 | 20.3 | 20.0 | 26 | 18 | 2 | 平成17年度数値が下がったのは、悪天候によるものであり、イベントとしては定着してきている。 | 商工 |
| 349 | 旅行商品化された体験プログラム数(累計) | プログラム | 10 | 14 | 17 | 76 | 15 | 18 | 1 | 「南阿波よくばり体験推進協議会」が体験メニューパンフレットを作成するなど、活動が活発化した。なお一層、充実化に取り組む。 | 商工 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | | 達成状況の説明 | 部局 | |
|------------------------|--------------------------------|-------|--------|----------|----------|--------|--------|----|---------|---|----|
| | | | | (平成16年度) | (平成17年度) | | 年度 | 年度 | | | |
| 350 | グリーン・ツーリズム*ホームページ掲載市町村数 | 市町村 | 21 | 15 | 18 | 12 | 30 | 18 | 2 | 今後はグリーン・ツーリズム推進協議会を活用して推進予定である。なお、実績値は12であるが、計画策定時(50市町村)に比較すると、23市町村に相当する。 | 農林 |
| 351 | 地域にぎわい創出補助金制度 | | 制度なし | 15 | 創設 | 運用 | 創設 | 16 | 1 | 市町村等により個性的な地域づくり事業が実施され、にぎわいと活力ある地域づくりが推進できている。 | 県民 |
| 352 | 訪日外国人調査徳島県訪問率* | % | 0.3 | 13 | 0.2 | - | 0.4 | 18 | 2 | 外客誘致に積極的に取り組んでいる。台風等悪天候の影響により、観光等外国人の訪問に影響を与えた。 | 商工 |
| 353 | 開発支援により販売した品目数(累計) | 品 | 未実施 | 16 | | 0 | 10 | 18 | 2 | 大都市圏の量販店等での複数の商品採用など、販路拡大支援が順調に推移している。 | 商工 |
| 4 にぎわい活力とくしまの実現 | | | | | | | | | | | |
| 354 | Jリーグ公式戦の開催 | | 未開催 | 15 | 開催 | 開催 | 開催 | 17 | 1 | 2005年シーズンは、鳴門でJリーグ公式戦が21試合開催され、本県に新たなにぎわいをもたらした。 | 商工 |
| 355 | はな・はる・フェスタ入り込み客数(再掲) | 万人 | 25 | 14 | 20.3 | 20.0 | 26 | 18 | 2 | 平成17年度数値が下がったのは、悪天候によるものであり、イベントとしては定着してきている。 | 商工 |
| 356 | 観光情報提供システム「阿波ナビ」アクセス件数(累計)(再掲) | 万件 | 56 | 15 | 120 | 153 | 100 | 18 | 1 | なお一層、利用しやすく魅力的な情報提供を行う。 | 商工 |
| 357 | 「徳島観光ファンクラブ」会員数(累計)(再掲) | 人 | 1,700 | 14 | 2,071 | 3,418 | 3,000 | 18 | 1 | なお一層、徳島の魅力発信に努める。 | 商工 |
| 358 | 徳島県メールマガジン「とくめる」の発行 | 回配信/月 | 2 | 15 | 2 | 2 | 2 | 18 | 2 | 毎月第2・4金曜日に、計画どおり配信している。 | 企画 |
| 359 | コンベンション*(集会、大会)開催による宿泊者数(累計) | 人 | 25,000 | 14 | 36,652 | 40,219 | 28,000 | 18 | 1 | 助成制度を拡充し、コンベンションの誘致に努めたため、順調に推移している。 | 商工 |
| 5 e - とくしまの実現 | | | | | | | | | | | |
| 360 | ブロードバンドサービス世帯普及率* | % | 12.0 | 14 | 30.6 | 36.1 | 35 | 18 | 1 | 利用エリアの拡大に伴い普及率は順調に増加し目標値を達成した。(実績値は平成17年12月末現在) | 県民 |
| 361 | 官民一体でのe-とくしま推進の中核となる組織の設置 | | 検討 | 15 | 設立 | 推進 | 設立 | 16 | 1 | 平成17年2月28日に財団法人e-とくしま推進財団を設立し、県のICT化に関する普及啓発業務や調査研究等を行った。 | 県民 |
| 362 | ブロードバンドサービス提供市町村数 | 市町村 | 33 | 15 | 33 | 24 | 45 | 18 | 1 | 計画策定時(50市町村)に比較すると、45市町村に相当。 | 県民 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 | | |
|----------------------|-----------------------------|-----|-------------------------|-----|-----------------------|-------------------------|-----------------|---------|----|--|----|
| | | | | 年度 | (平成16年度) | | | | | (平成17年度) | 年度 |
| 363 | C A T Vサービス提供市町村数 | 市町村 | 13 | 15 | 17 | 19 | 25 | 18 | 1 | 計画策定時(50市町村)に比較すると、29市町村に相当。 | 県民 |
| 364 | I T講習会の受講者数(平成12年度開始時からの累計) | 人 | 63,000 | 14 | 91,179 | 100,938 | 100,000 | 17 | 1 | 計画的に講習会を開催し、目標を達成した。引き続き、I T講習会を実施し、基礎技術習得の機会の増大を図る。 | 県民 |
| 365 | 県の行政手続のオンライン化数 | 手続 | 0 | 15 | 9 | 28 | 70 | 18 | 3 | 手数料の納付や交付物の提示等、行政手続のオンライン化に当たっての阻害要因が、当初予定した目標年次に解決せず、オンライン数が予定を下回っているため、当初計画の見直しに向けた検討を行った。 | 県民 |
| 366 | 市町村の行政手続のオンライン化数 | 手続 | 4 | 16 | | 30 | 60 | 18 | 2 | 手数料の納付や交付物の提示等が障害となって、手続がオンラインで完結できないことから、オンライン化しやすい手続の拡充を図っている。 | 県民 |
| 367 | 地方税電子申告システムの導入 | | 検討 | 15 | 開発中 | 運用開始 | 運用開始 | 17 | 1 | 平成18年1月16日から電子申告システム(法人県民税・法人事業税)の運用を開始している。 | 企画 |
| 368 | 政治資金等届出電子化システムの導入 | | 未整備 | 15 | 準備 | - | 運用開始 | 18 | 3 | 導入に当たっては、電子申請・届出システムの利用が必要となるが、現行のシステムのあり方を含め、計画の見直しが検討されていることから、今後その動向を見極めつつ対応を講じていくこととしている。 | 県民 |
| 369 | 電子入札システムの導入(再掲) | | 未整備 | 15 | 一部導入 | 一部導入 | 全面導入 | 18 | 2 | 建設工事に伴う5千万円以上の工事件件及び1千万円以上の委託案件について概ね電子入札を導入した。 | 県土 |
| 370 | 総合医療情報システム*の導入 | | 未整備 | 15 | 整備中 | 試験運用 | 本格運用 | 18 | 2 | 県立中央病院において、平成18年度からの本格運用に向け平成17年度に試験運用を行った。 | 病院 |
| 371 | 電子文書管理システムの導入 | | 開発 | 15 | 拡充検討 | 試行導入 | 拡充完了 | 18 | 2 | 電子申請・届出システムの専用システムとして平成18年1月から試行導入し、18年4月から本格導入。 | 企画 |
| 6 とくしま合併戦略の展開 | | | | | | | | | | | |
| 372 | 合併市町村数 | | 9合併協議会(34町村)で市町村合併に取り組む | 15 | 4合併協議会(16町村)で市町村合併を実現 | 10合併協議会(36市町村)で市町村合併を実現 | すべての合併協議会の合併の実現 | 16 | 1 | H16.10.1吉野川市、H17.3.1美馬市・那賀町・つるぎ町、H17.4.1阿波市、H18.3.1三好市・東みよし町、H18.3.20阿南市(編入)、H18.3.31美波町・海陽町の発足 | 県民 |
| 373 | 市町村合併構想の策定 | | 未策定 | 15 | - | - | 策定 | 17 | - | 「合併対象市町村の組合せ」等を主な内容とする「自主的な市町村の合併の推進に関する構想」策定に向け、「徳島県市町村合併推進審議会」を設置し、第1～3回審議会を開催した。引き続き、審議会において十分議論いただきながら、地域の資源と特性を活かした「戦略的な市町村合併」について検討する。 | 県民 |

「オンリーワン徳島行動計画」 目標水準・数値目標 平成17年度達成状況一覧表

達成度：1達成、2順調、3努力を要する

| 番号 | 指 標 名 | 単位 | 現況値 | 年度 | 実績値 (平成16年度) | 実績値 (平成17年度) | 目標値 | 年度 | 達成度 | 達成状況の説明 | 部局 |
|--------------|--|-----|---------|----|-----------------|-----------------|---------|----|-----|---|----|
| | | | | 15 | 16 | 17 | 18 | | | | |
| 7元気がまち・むらづくり | | | | | | | | | | | |
| 374 | 地域にぎわい創出補助金制度（再掲） | | 制度なし | 15 | 創設 | 運用 | 創設 | 16 | 1 | 市町村等により個性的な地域づくり事業が実施され、にぎわいと活力ある地域づくりが推進できている。 | 県民 |
| 375 | ボランティア人口（再掲） | 人 | 100,115 | 14 | 101,014 | 135,238 | 210,000 | 18 | 2 | 社会貢献活動への参加形態の多様性から、NPO法人への参加をはじめ、他の形態での活動人口が増加していることもあり、ボランティア人口としての伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。 | 県民 |
| 376 | 協働事業推進補助金補助事業数（再掲） | 事業 | 未実施 | 15 | 14 | 15 | 20 | 18 | 2 | 社会貢献活動団体が取り組む社会貢献活動の立ち上げに効果を上げており、今後も引き続き効果が期待できる。 | 県民 |
| 377 | NPO法人数（再掲） | 団体 | 42 | 14 | 102 | 138 | 80 | 18 | 1 | NPO法人制度の周知等により、法人認証数は順調に増加している。 | 県民 |
| 378 | 構造改革特区の導入件数（累計） | 件 | 3 | 15 | 5 | 8 | 7 | 18 | 1 | 平成17年度は、国の構造改革特区が2件認定を受け、県版の構造改革特区を1件認定し目標を達成したが、引き続き特区制度の導入促進に努める。 | 企画 |
| 379 | 地域再生計画の導入件数（累計） | 件 | 3 | 16 | | 14 | 5 | 18 | 1 | 平成17年度に、11件の地域再生計画が認定を受け目標を達成したが、引き続き地域再生計画の導入促進に努める。 | 企画 |
| 380 | 新町地区商店街（徳島市）のにぎわい状況（日曜日の人の通行量指数 100とする） | | 100 | 14 | - | 77 | 110 | 18 | 3 | 商店街団体がにぎわいづくりのための各種事業を実施してきたが、郊外型大規模小売店舗の出店や、相次ぐ映画館の閉館によるアミューズメント機能の低下等の影響を受け、通行量が減少している。 | 商工 |
| 381 | 徳島駅前南地区優良建築物等整備事業の進捗率 | | 整備中 | 15 | 整備中 | 整備完了 | 整備完了 | 16 | 1 | 平成17年度をもって整備完了。 | 県土 |
| 382 | 阿波雑穀街道認定商品を製造する事業体数（雑穀・かずらなどの地域資源を利用し開発した商品を製造する事業体） | 事業体 | 30 | 15 | 38 | 49 | 45 | 18 | 1 | 地域おこしマイスター及び農業支援センター等、関係機関との連携強化により目標を達成したが、引き続き推進に努める。 | 農林 |
| 383 | 中山間地域等直接支払制度*に取り組んだ集落協定更新数 | 協定 | 未更新 | 16 | | 639 | 700 | 18 | 2 | 前期対策に取り組んだ集落協定数の約93%が協定を締結している。 | 農林 |

番号欄に網掛けのある指標は、平成17年度版計画で新規に設定した指標です。指標名に「*」印の付いている用語は、計画書の巻末に解説があります。